

2021年3月期決算 投資家向け説明会

2021年5月14日

ソフトバンクグループ株式会社

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「あるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」（https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor）をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）、SBLA Advisers Corp.（以下「SBLA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、それぞれSBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」または「SVF1」）とSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」または「SVF2」）を含み、また、SBLAとその関係会社によって運用されているSoftBank Latin America Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」または「LatAm Fund」）を含みます。SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社（SBIAを含む）、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBIA及びSBLAは、SBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを運用しており、ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2を含むSBIAによって運営されているSBファンドはSBIA単独で運営され、またラテンアメリカ・ファンドはSBLA単独で運営されています。

本資料における為替換算レート

期中平均レート	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4
1米ドル	110.00	107.70	108.98	109.22	107.74	105.88	104.45	106.24
1人民元	16.13	15.37	15.46	15.56	15.16	15.27	15.71	16.31
期末レート	2019/6月末	2019/9月末	2019/12月末	2020/3月末	2020/6月末	2020/9月末	2020/12月末	2021/3月末
1米ドル				108.83				110.71
1人民元				15.31				16.84

略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF 1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド 1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF 2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド 2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.および代替の投資ビークル
ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド	SoftBank Latin America Fund L.P.
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
スプリント	Sprint Corporation
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
アーム	Arm Limited
アリババ または Alibaba	Alibaba Group Holding Limited
WeWork	WeWork Inc.

財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK、アーム、SVF1、SVF2、PayPay、フォートレス、SBIナジー等です

SVF1&2※2を中心に投資事業が好調 4.5兆円プログラムでコミットした株主還元と財務改善を完遂

投資事業の好調

- **投資利益はSVF1&2を中心に7.5兆円を計上**
 - SVF1&2 : Coupang、Auto1等がQ4に、通期では9社が上場※3
 - 連結純利益※4は5.0兆円に

保有資産の状況

- **保有株式価値は29.8兆円。SVF1&2の価値増加によりアセットの多様化が進む**
 - SVF1&2の保有株式価値が7.5兆円へ増加。構成割合は25%に上昇
 - Alibabaの保有株式価値は12.7兆円、構成割合は43%へと低下

4.5兆円プログラム

- **4.5兆円プログラムに基づく資金化はQ2までに完了、株主還元と財務改善も完遂**
 - 株主還元 : 2兆円実施※5 (4.5兆円プログラムに基づく2020年6月17日から2021年5月12日迄の取得額)
 - 負債返済 : 1兆円の返済を実現

LTV

- **LTV、手元流動性とも更に改善、十分な財務バッファーを保持**
 - LTV : 12.4%
 - 手元流動性 : 2.9兆円※6

※1 別途記載がある場合を除き、2021年3月31日現在 ※2 SVF1およびSVF2 ※3 SPACを除く ※4 親会社の所有者に帰属する当期利益
 ※5 4.5兆円プログラム以前に決定された自己株式の取得5,000億円（取得期間：2020年3月16日～2020年6月15日）を含めた場合、総額2.5兆円の自社株買い
 ※6 現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

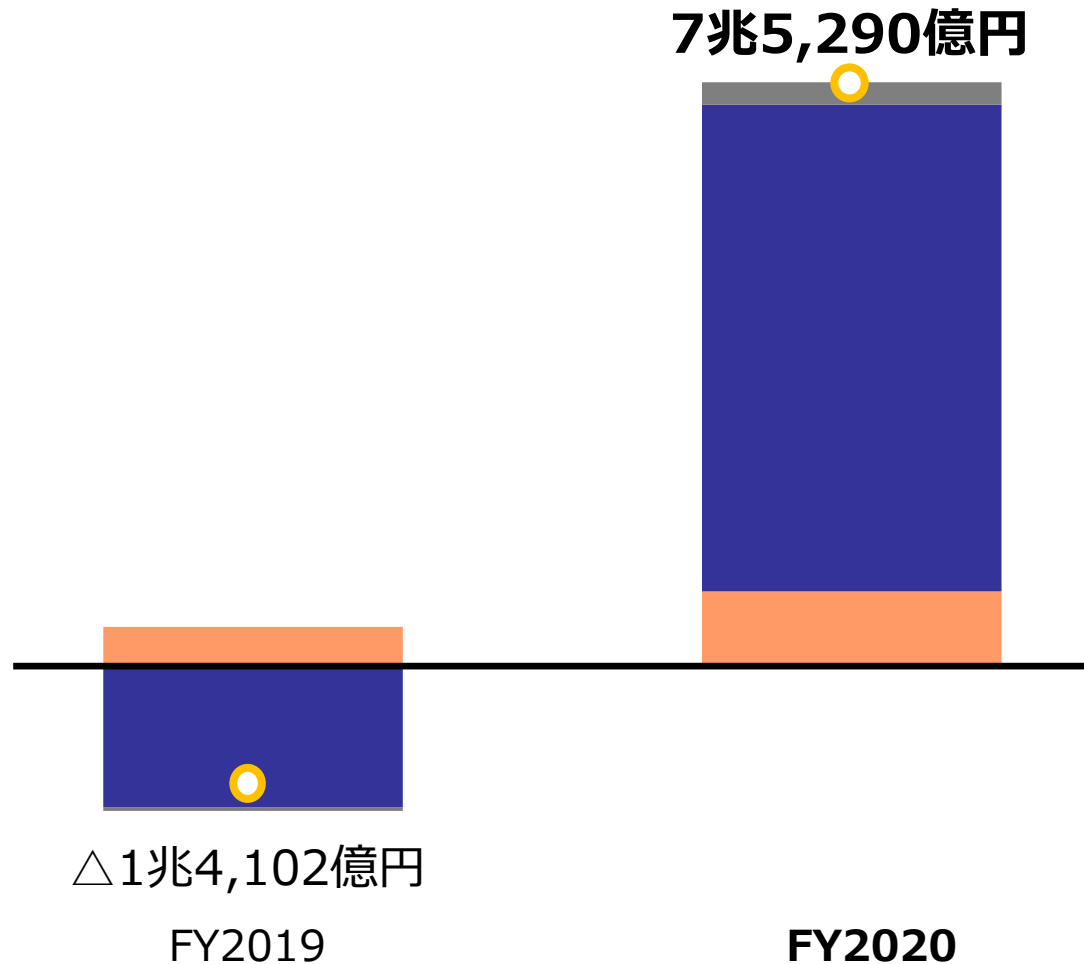
- **投資事業の好調**
- 保有資産の状況
- 4.5兆円プログラム
- 財務の状況
- 財務戦略
- ESGの推進

投資利益の増加

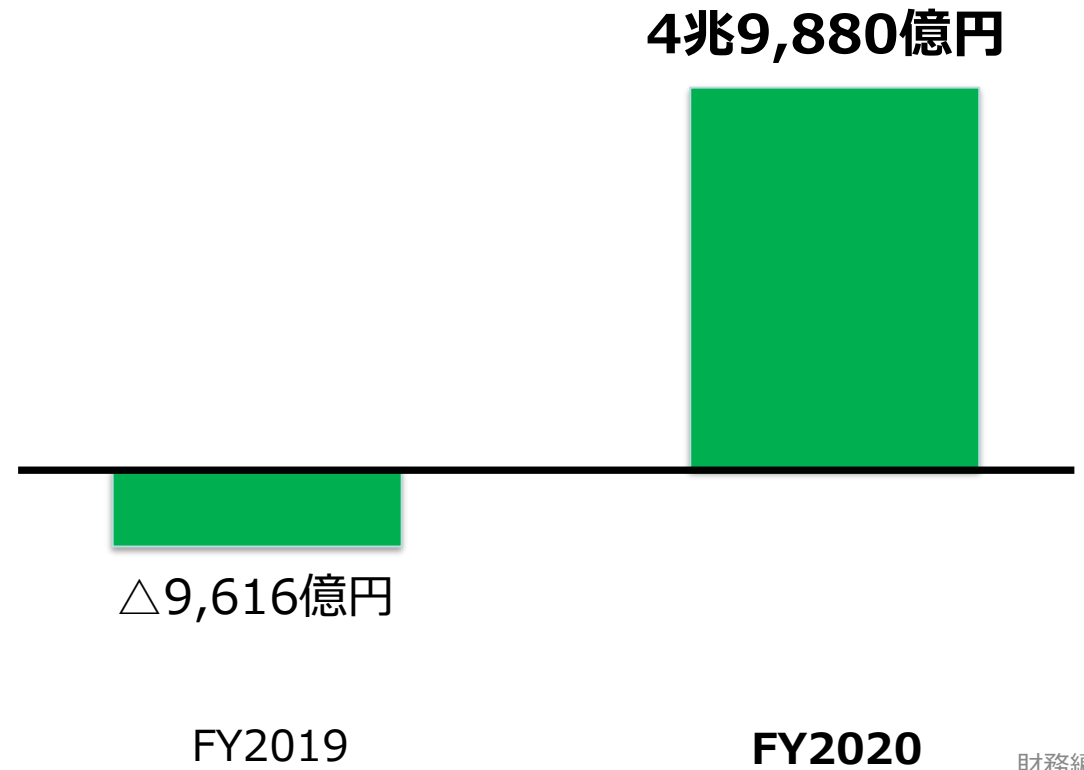
連結純利益4兆9,880億円: SVF1&2からの投資利益が大幅に増加

投資損益

■ 持株会社投資事業
 ■ SVF1&2
 ■ その他
 ○ 投資損益合計



純利益 (親会社の所有者帰属分)



SVFの主な投資活動（2021年1月以降）

Coupangの大型上場等に加え、新規投資も積極的に実施

新規上場

SVF1		時価（ gross ）※2		SVF2		時価（ gross ）※3	
	IPO	\$28,039mn			IPO	\$26mn	
	IPO	\$2,301mn		SPAC※1を活用した投資（IPO）			
	SPACとの合併による上場	\$490mn		SVF Investment Corp.			総額 \$1.15bn を調達
				SVF Investment Corp. 2			
				SVF Investment Corp. 3			

新規投資

SVF2

2021年1月～3月までの3カ月間において、合計18銘柄へ新規投資を実行

売却

SVF1

※1 特別買収目的会社(Special Purpose Acquisition Company)の略称

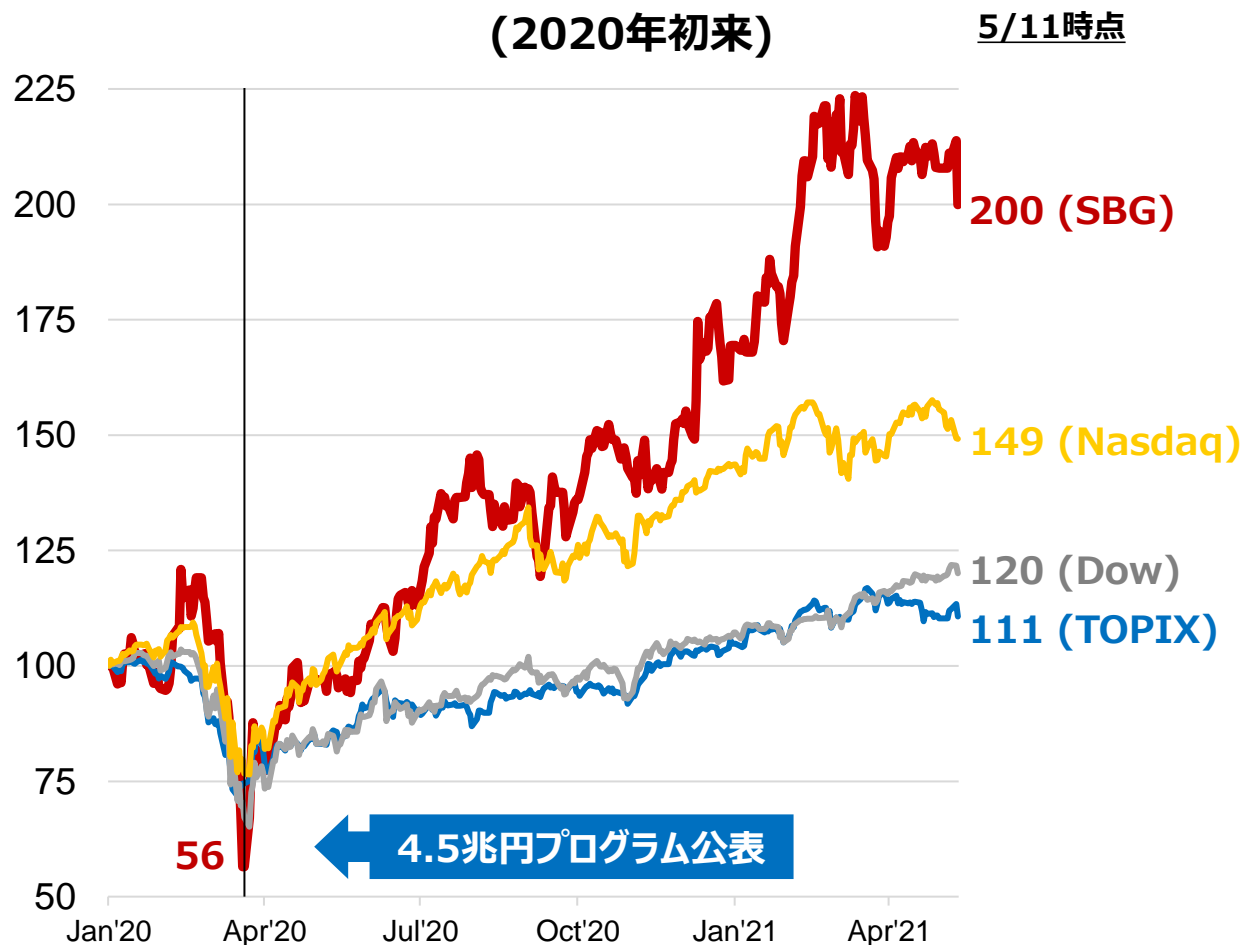
※2 時価(gross)=売却前の投資先の公正価値+売却済の投資先の売却価額+投資先からの受取配当金。売却済の投資先の売却価額及び投資先からの受取配当金は取引手数料、税金および諸費用考慮前。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前のリターンを掲載。数値は2021年3月末時点

※3 時価(gross)=売却前の投資先の公正価値。諸費用等考慮前のリターンを掲載。数値は2021年3月末時点

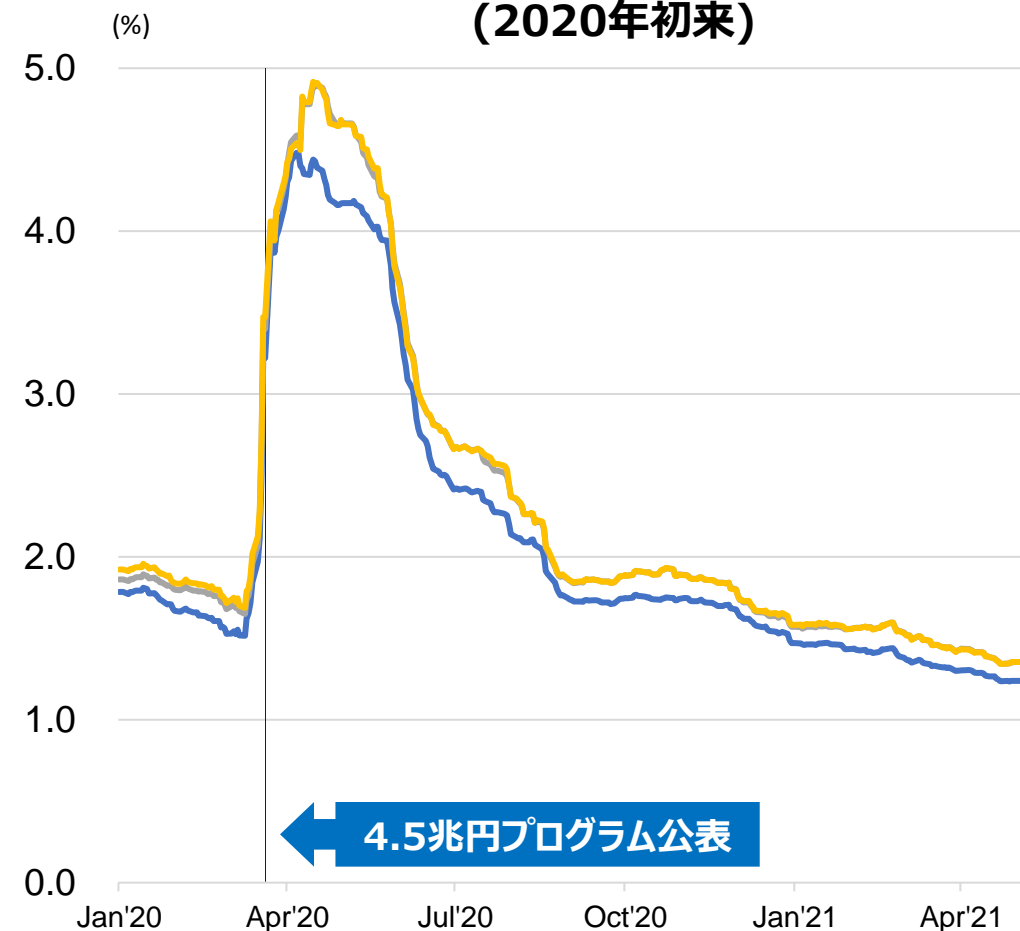
※ 投資の売却又はIPOに関する情報への言及は、SVF1およびSVF2の過去及び現在の投資対象のうち上場に係る情報の提供のみを目的としており、SVF1およびSVF2の投資対象の全てを網羅するものではありません。SVF1およびSVF2の特定の投資対象に関する情報への言及は、特定の投資対象又は有価証券の勧誘として解釈してはなりません。過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBIAが、同社の投資に係る目的、方針及び戦略を実行又は達成するという保証はありません。本資料に記載される計画の実現は、投資家の同意又は監督官庁の承認等の不確実性とリスクを含み、ここに記載の全て又は一部の条件で実現することを保証するものではありません。

株価はインデックス対比でアウトパフォーム維持、国内債利回りは更に低下

SBG 株価※1 (2020年初来)



SBG 国内シニア債利回り※2 (2020年初来)



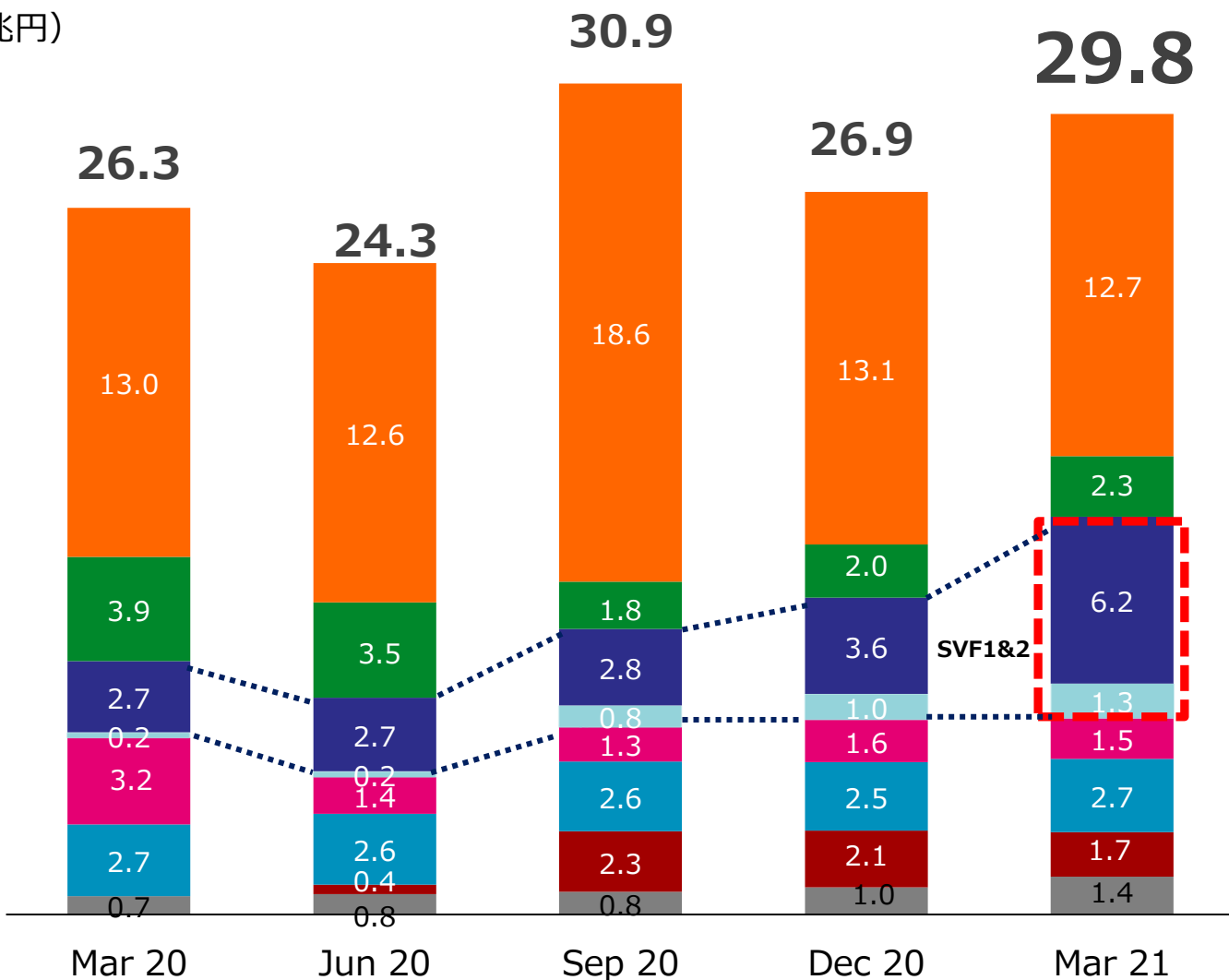
※1 2020年1月1日を100として指数化。2021年5月11日時点
 ※2 第55、56、57回社債の流通利回り。BloombergによりSBG作成。2021年5月11日時点

- 投資事業の好調
- **保有資産の状況**
- 4.5兆円プログラム
- 財務の状況
- 財務戦略
- ESGの推進

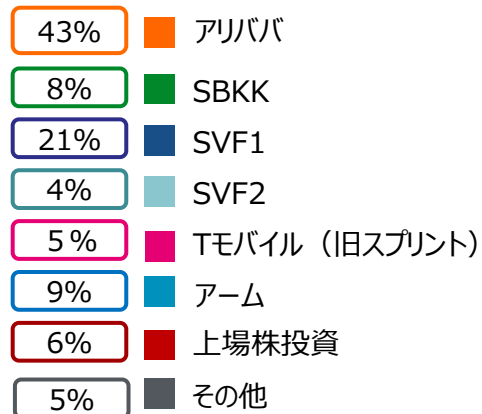
保有株式価値は29.8兆円。SVF1&2の株式価値向上が大きく貢献

アセットファイナンス除く

(兆円)



構成比

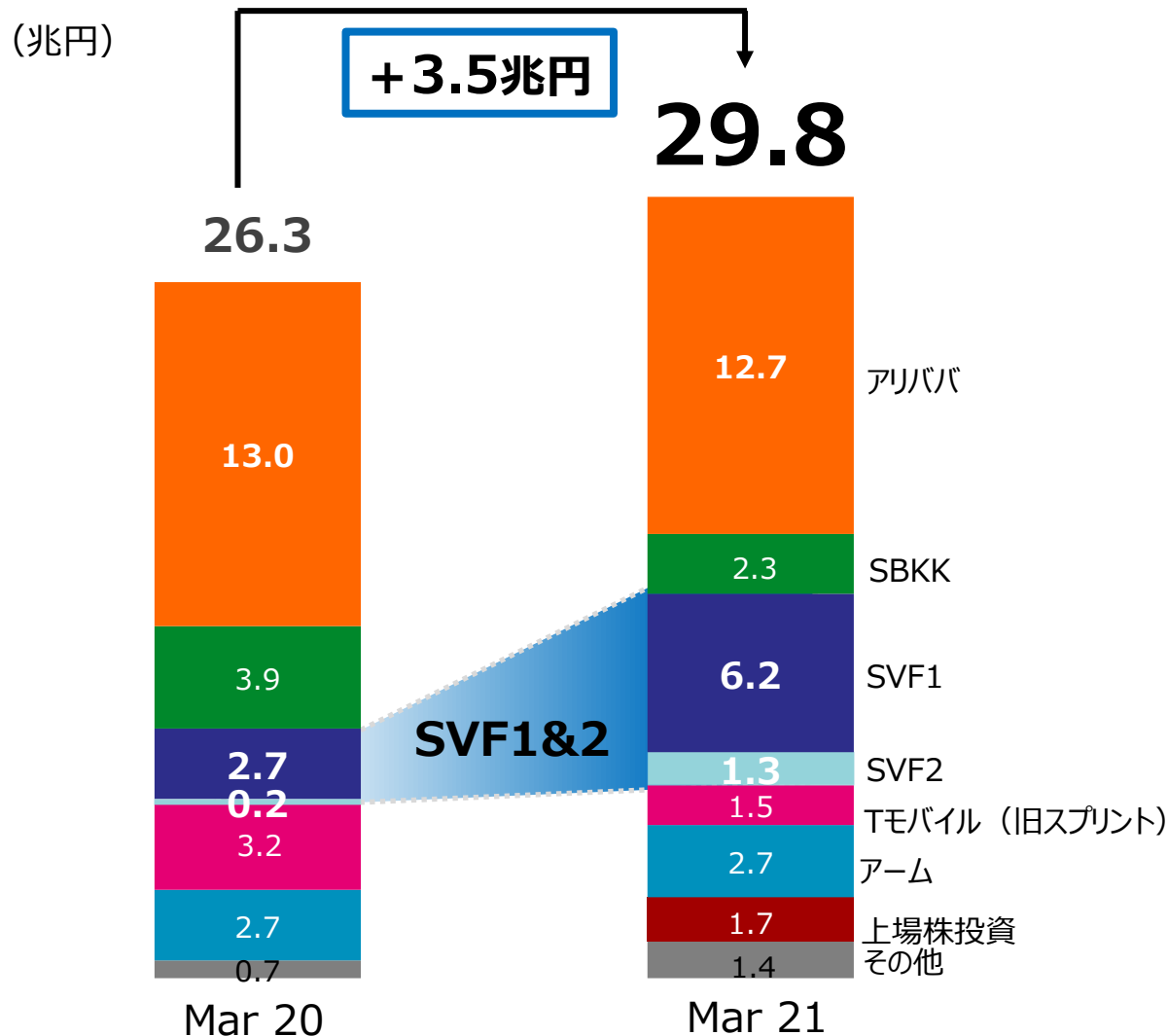


※ 各四半期末時点

- アリババ：SBGの保有株式数に同社株式（米国預託証券）の株価を乗じ算出。アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（フロア契約・カラー契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（同社株価で算出）の合計額、2021年3月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額およびSB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除
- SBKK：SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出。SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額を控除
- SVF1：SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込金額等
- SVF2：SVF2の保有資産価値相当 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル（旧スプリント）：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出（ドイツテレコムが受領した株式購入オプションの対象となる株式数(101,491,623株を含む)。一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値およびTモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連し、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値を加算。ドイツテレコムが受領した株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額およびTモバイル株式を担保としたマージン・ローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしている金額を控除。（Tモバイル株式を担保としたマージン・ローン（借入総額\$4.38bn）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています。）
- アーム：SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- 上場株投資：SB NorthstarのNAV（Net Asset Value）に対するSBGの持分等にSB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を加算して算出
- その他：上場株式は、SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出。非上場株式はSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

大規模な資金化にもかかわらず、株式価値の上昇を実現

アセットファイナンス除く



3.5兆円増加の要因内訳

株式価値上昇等※1

+ 8.0兆円

新規・追加投資※2

+ 1.6兆円

資金化の影響※3

- 6.1兆円

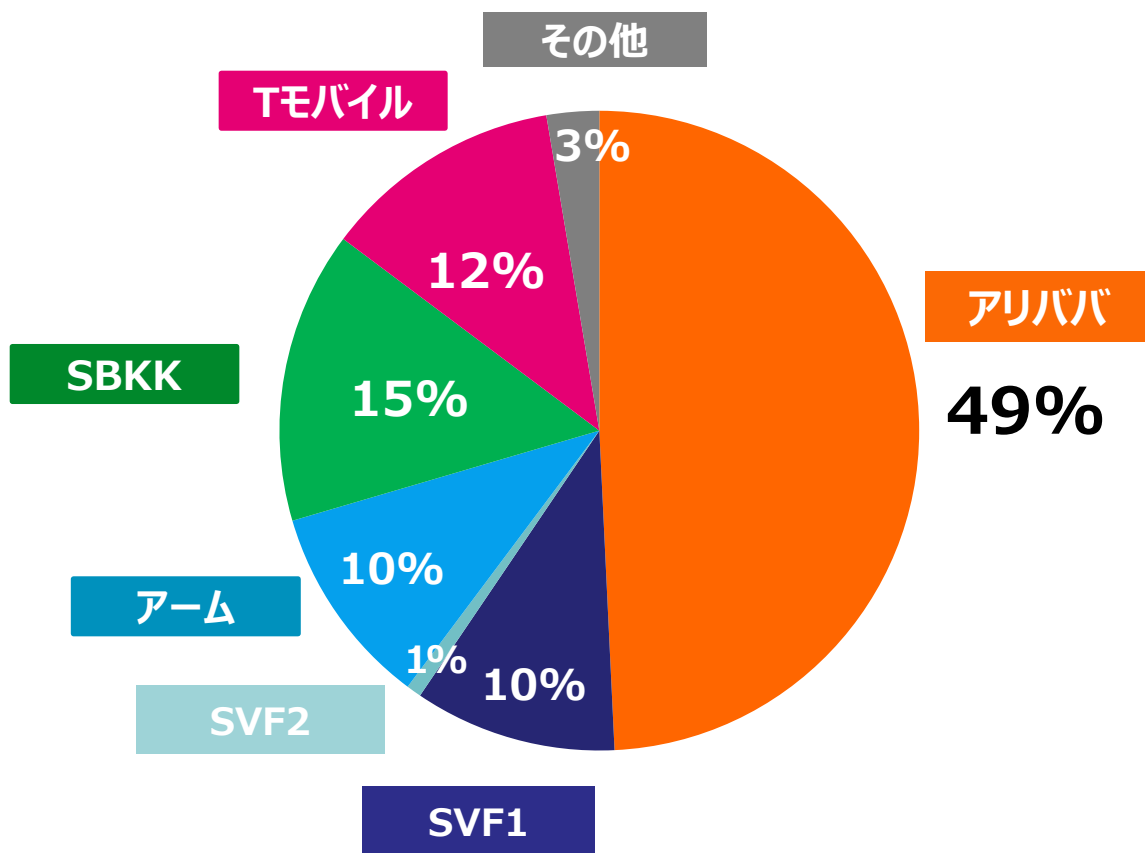
※1 株式価値上昇等：2021年3月末時点と前年同日の株式価値の差額合計値 から、新規・追加投資 及び 資金化 の金額を控除した値
 ※2 新規・追加投資：ソフトバンクグループ（株）及び その子会社によって2020年度に実施された新規・追加の投資額合計値
 ※3 資金化の影響：5.6兆円の資金化とその他のアセットファイナンスの増加分（契約変更等）を含む
 ※ 各四半期末時点

- アリババ：SBGの保有株式数に同社株式（米国預託証券）の株価を乗じ算出。
- アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（カラー契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（同社株価で算出）の合計額、2021年3月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額およびSB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除
- SBKK：SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出。SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額を控除
- SVF1：SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2：SVF2の保有資産価値相当 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル（旧スプリント）：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出（ドイツテレコムが受領した株式購入オプションの対象となる株式数(101,491,623株)を含む）。一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値およびTモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連し、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値を加算。ドイツテレコムが受領した株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額およびTモバイル株式を担保としたマージン・ローンの借入総額のうち、ノンコースのアセットファイナンスとしている金額を控除。（Tモバイル株式を担保としたマージン・ローン（借入総額\$4.38bn）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠を控除した金額をノンコースのアセットファイナンスによる借入額としています。）
- アーム：SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- 上場株投資：SB NorthstarのNAV（Net Asset Value）に対するSBGの持分等にSB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を加算して算出
- その他：上場株式は、SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出。非上場株式はSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

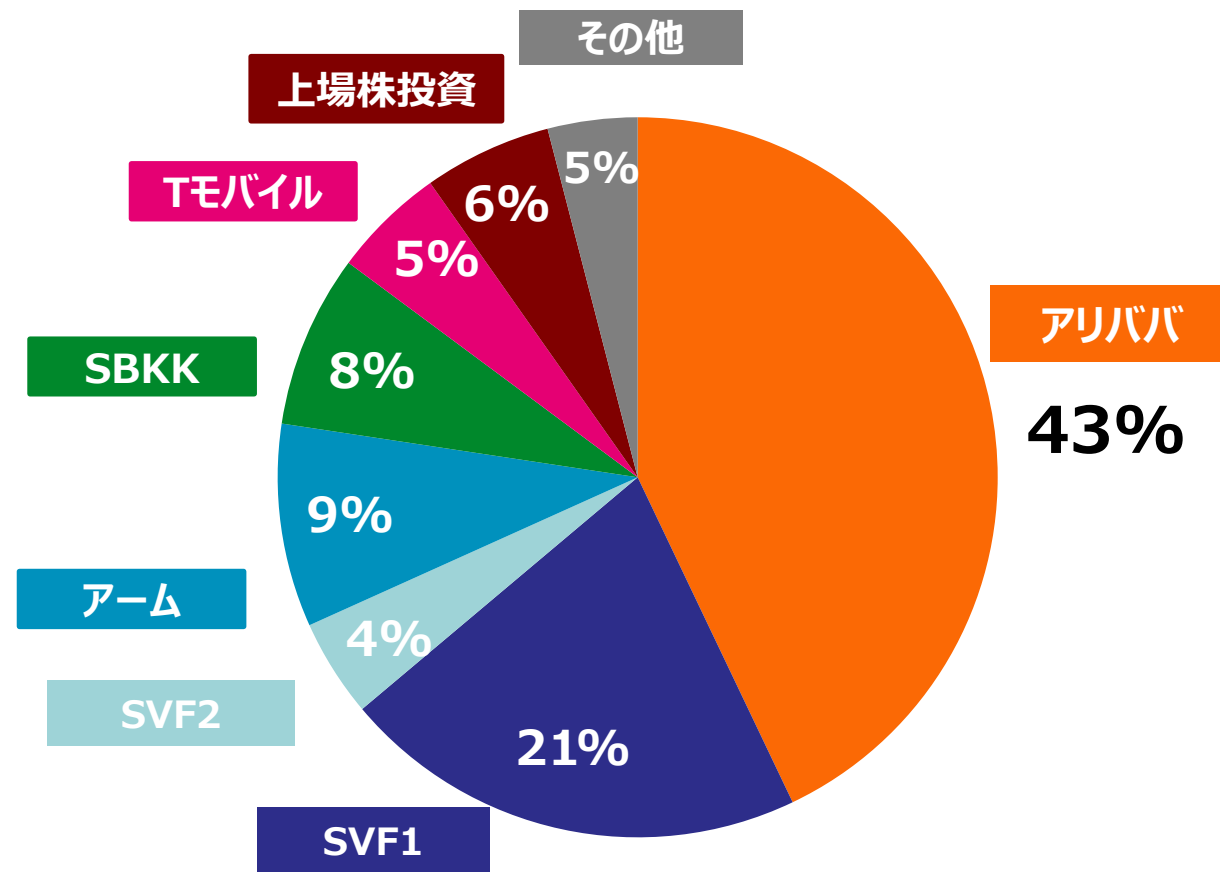
アリババの比率の低下と、SVF1&2の価値増加により資産の多様化が進む

アセットファイナンス除く

2019年度末

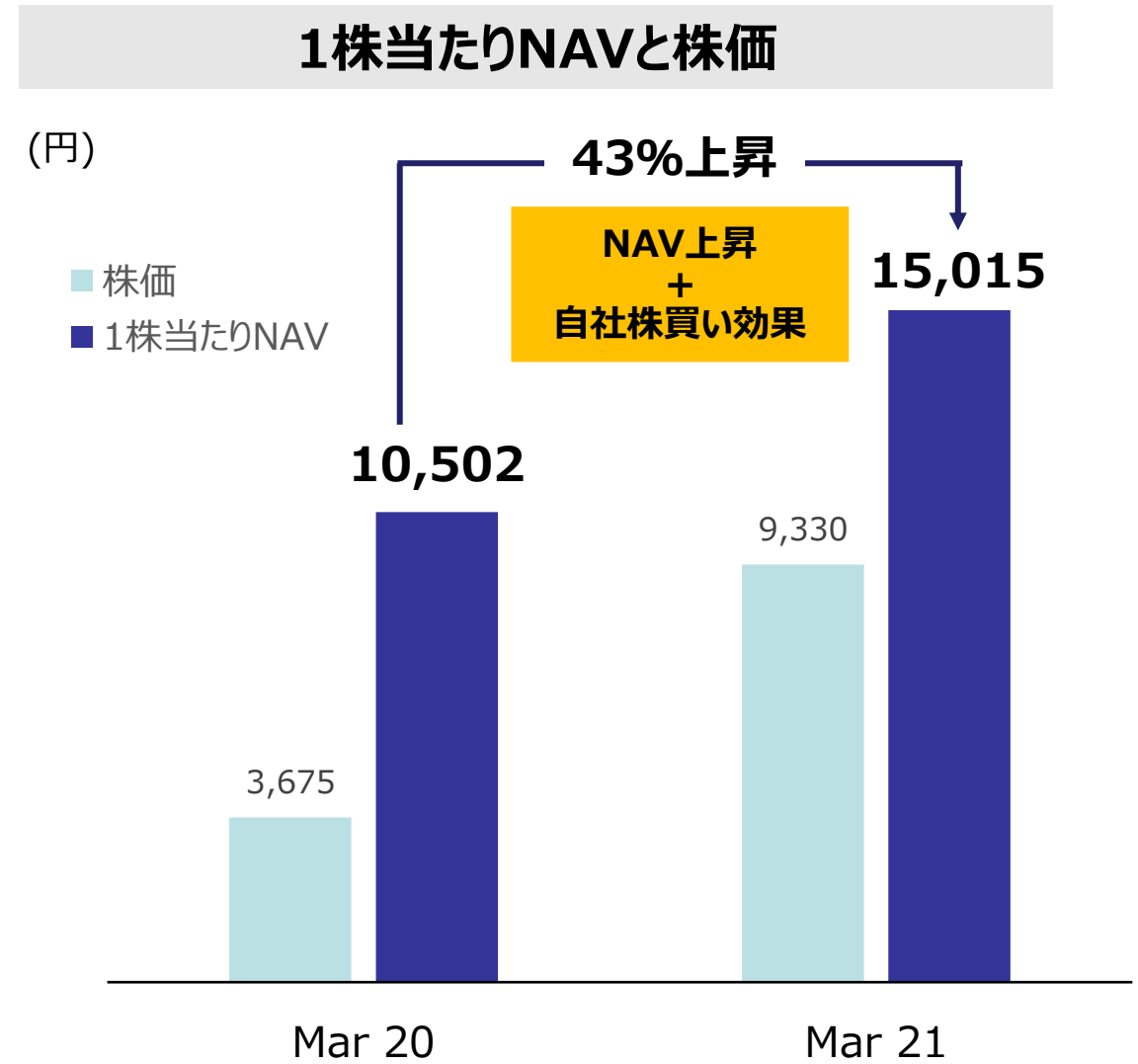
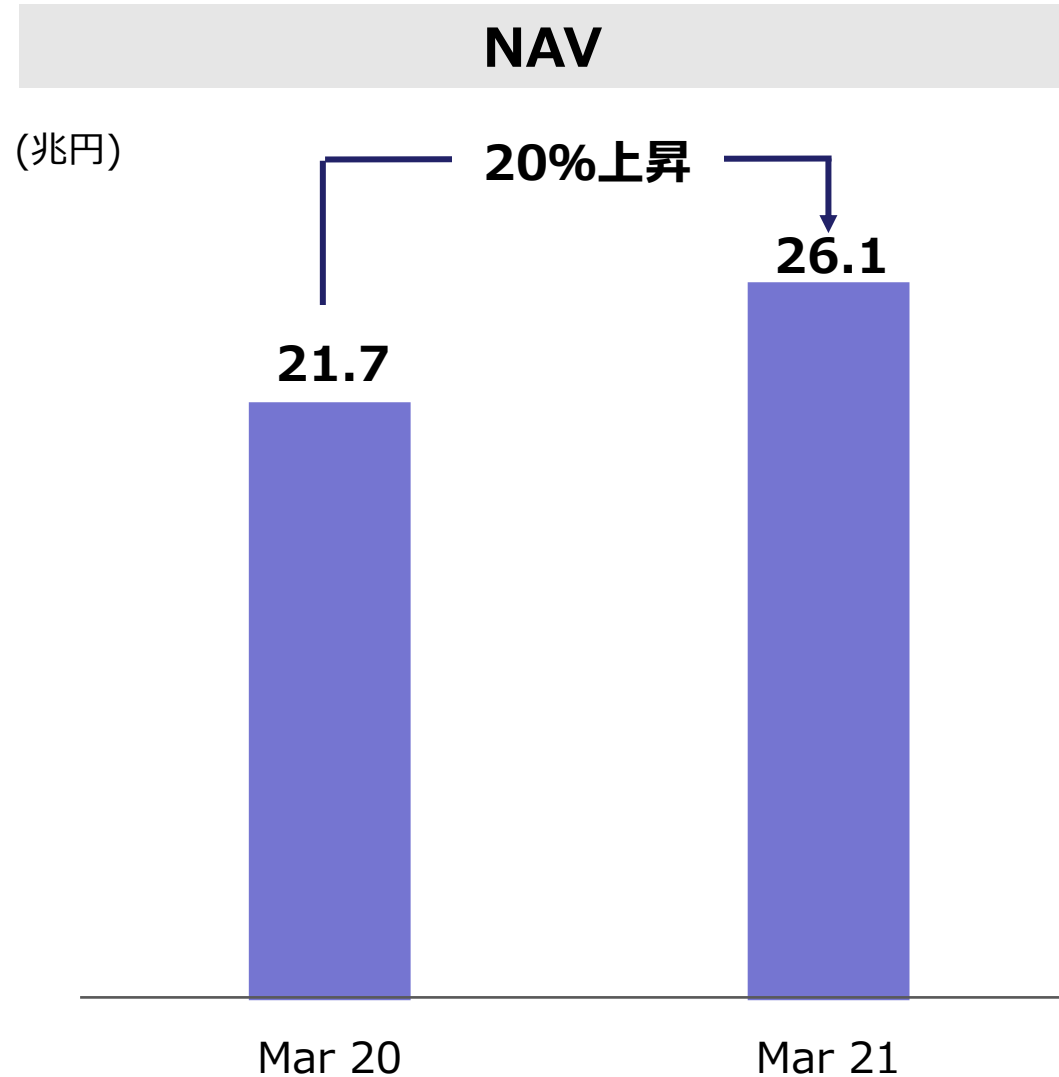


2020年度末

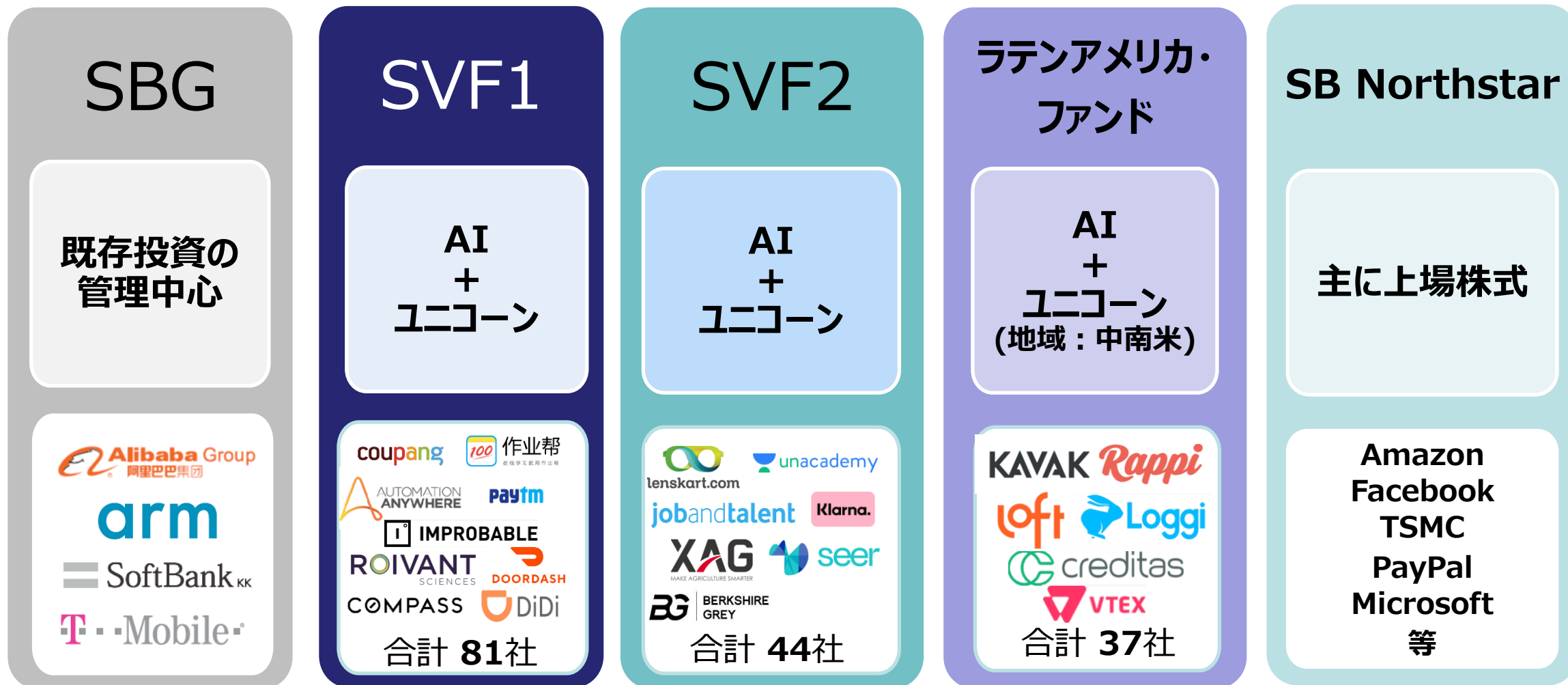


※ 保有株式価値の内訳についての注記は、[8]ページを参照

NAVの上昇と自社株買いに伴う株式数減少により、1株当たりNAVは43%上昇

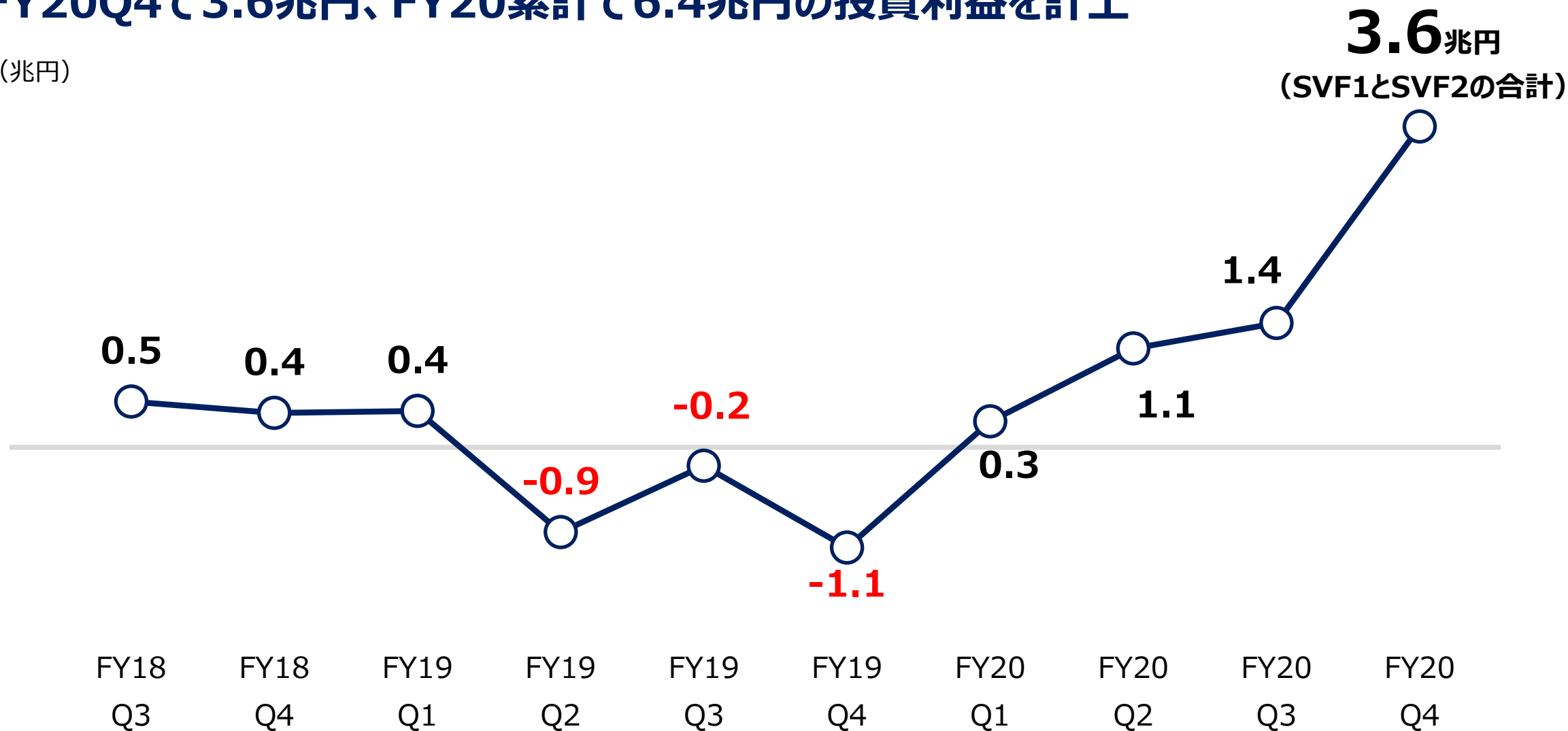


複数の投資エンティティがそれぞれの分野で活動し、本格的なAI時代の到来に備える



FY20Q4で3.6兆円、FY20累計で6.4兆円の投資利益を計上

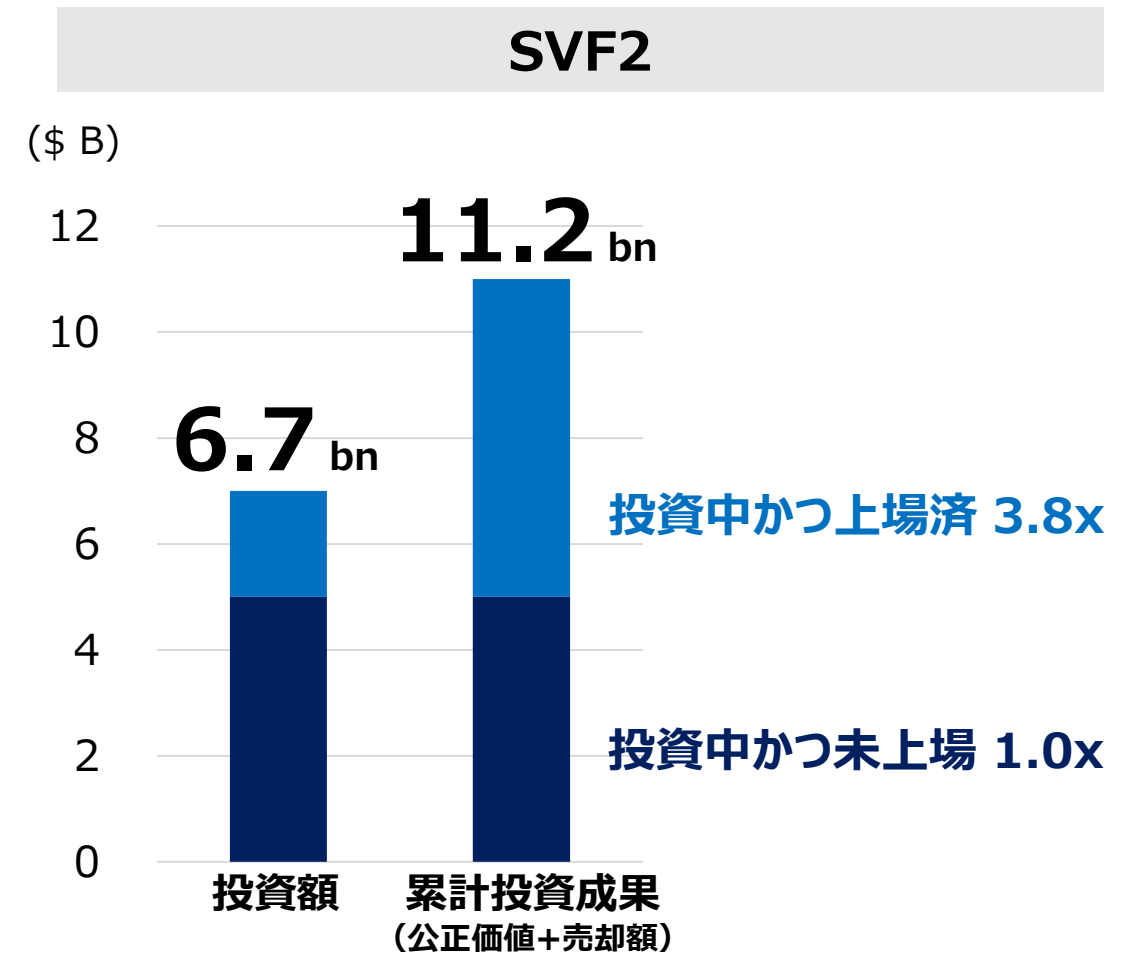
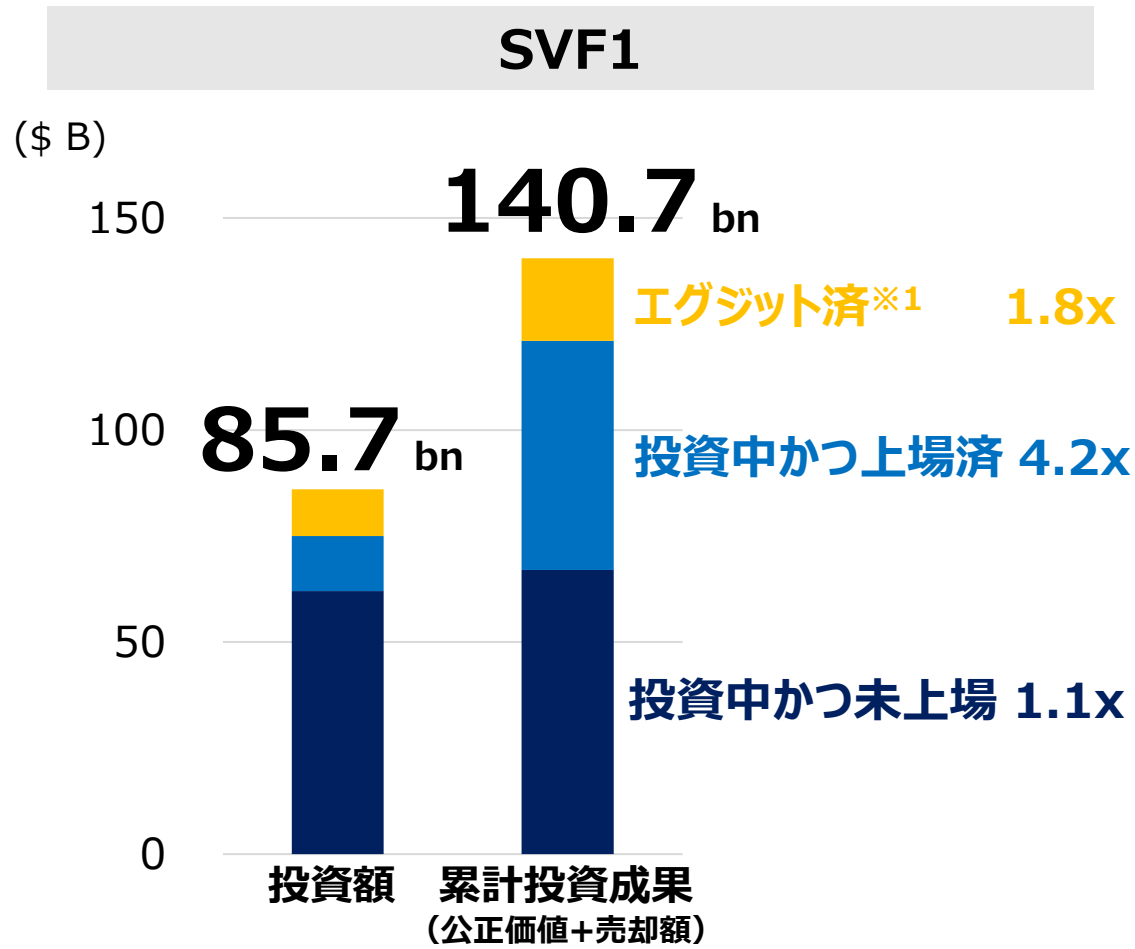
(兆円)



※1 SVF 1等SBIA の運営するファンド事業。

SVF1&2：累計投資成果（SBG連結ベース）

コロナ禍でのオンライン需要の増加や、投資先のIPO等により、投資先の価値が増大



※ 1ドル=110.71円(2021年3月31日時点)

※ 当社からSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めていない

※ 外部投資家持分および税金等の控除前

※1 SVF1のエグジット済には、既決済のデリバティブ原価及び損益を含む

SoftBank Vision Fund 1 (2021年3月末)

(SBG (LP) + 成功報酬)

普通出資IRR

39%

<公正価値の評価プロセス>

SBIA は四半期ごとに英国の金融行為規制機構(FCA: Financial Conduct Authority)が発行したオルタナティブ投資ファンドマネージャー指針(AIFMD: Alternative Investment Fund Manager Directive)に準拠してSVF1で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIA のポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。これと並行して、SVF1の投資アドバイザーボード(IAB: Investor Advisory Board)が、独立の投資評価者として複数の外部ファームを選任し、半期ごとにSVF1で実施された投資の独立評価を行っています。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、独立の投資評価者のレポートを十分に考慮の上、SBIAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会は SBIA の CEO、CFO、CRO、法務責任者、副CFOと上級投資専門家構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はSVF1の独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けま す。評価結果はSBIA UK Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法> SVF1が適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、SVF1はIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法としても知られており、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義> 普通出資IRR(LP Net Equity IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定報酬(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分に係る内部収益率を指します。2021年3月31日時点での普通出資持分に属するリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1の純資産価値を元に算出されています。普通出資IRR(Net Equity IRR (SBG (LP)+成功報酬))は、マネージャーとしての成功報酬(支払済み、未払い含む)の影響を調整した、SBGの普通出資持分に係る内部収益率(計算はLP Net Equity IRRと同様)を表しています。“Equity”IRRは例示を目的としたものであり、SVF1全体の投資成績の一部しか表していません。加えて、優先出資持分に対するコミットメントは反映されておらず(これはSVF1全体の投資成績に大きな影響を与えるものであり、より低い成績となる可能性があります)、いずれのリミテッド・パートナーの投資成績を表すものではありません。個別の投資実績及び資金拠出・分配のタイミングに応じて、リミテッド・パートナー毎に投資成績は異なります。SVF1はこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。SVF1の投資成績は直近でSVF1が一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF1への引き渡しを行う義務はありません。投資期間終了前に売却した投資案件に係る成功報酬は、全額支払いが行われており、クローバック条項の対象となります。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

SoftBank Vision Fund 2 (2021年3月末)

(SBG (LP) + 成功報酬)

普通出資IRR

119%

<公正価値の評価プロセス> SBIA は四半期ごとに英国の金融行為規制機構(FCA: Financial Conduct Authority)が発行したオルタナティブ投資ファンドマネージャー指針(AIFMD: Alternative Investment Fund Manager Directive)に準拠してSVF2で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIA のポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、SBIAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会は SBIA の CEO、CFO、CRO、法務責任者、副CFOと上級投資専門家によって構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はSVF2の独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受け、評価結果はSBIA UK Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法> SVF2が適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、SVF2はIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法としても知られており、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義> 普通出資IRR(LP Net Equity IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定報酬(PREFERRED EQUITY COUPON)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分に係る内部収益率を指します。2021年3月31日時点での普通出資持分に帰属するリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF2の純資産価値を元に算出されています。普通出資IRR(Net Equity IRR (SBG (LP)+成功報酬))は、マネージャーとしての成功報酬(支払済み、未払い含む)の影響を調整した、SBGの普通出資持分に係る内部収益率(計算はLP Net Equity IRRと同様)を表しています。2021年3月31日時点でのSVF2の出資コミットメントは普通出資持分のみで構成されており、SBGが唯一のリミテッド・パートナーとなります。SVF2はこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。SVF2の投資成績は直近でSVF2が一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF2への引き渡しを行う義務はありません。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

SoftBank Vision Fund 1+2 (2021年3月末)

(SBG (LP) + 成功報酬)

普通出資IRR

43%

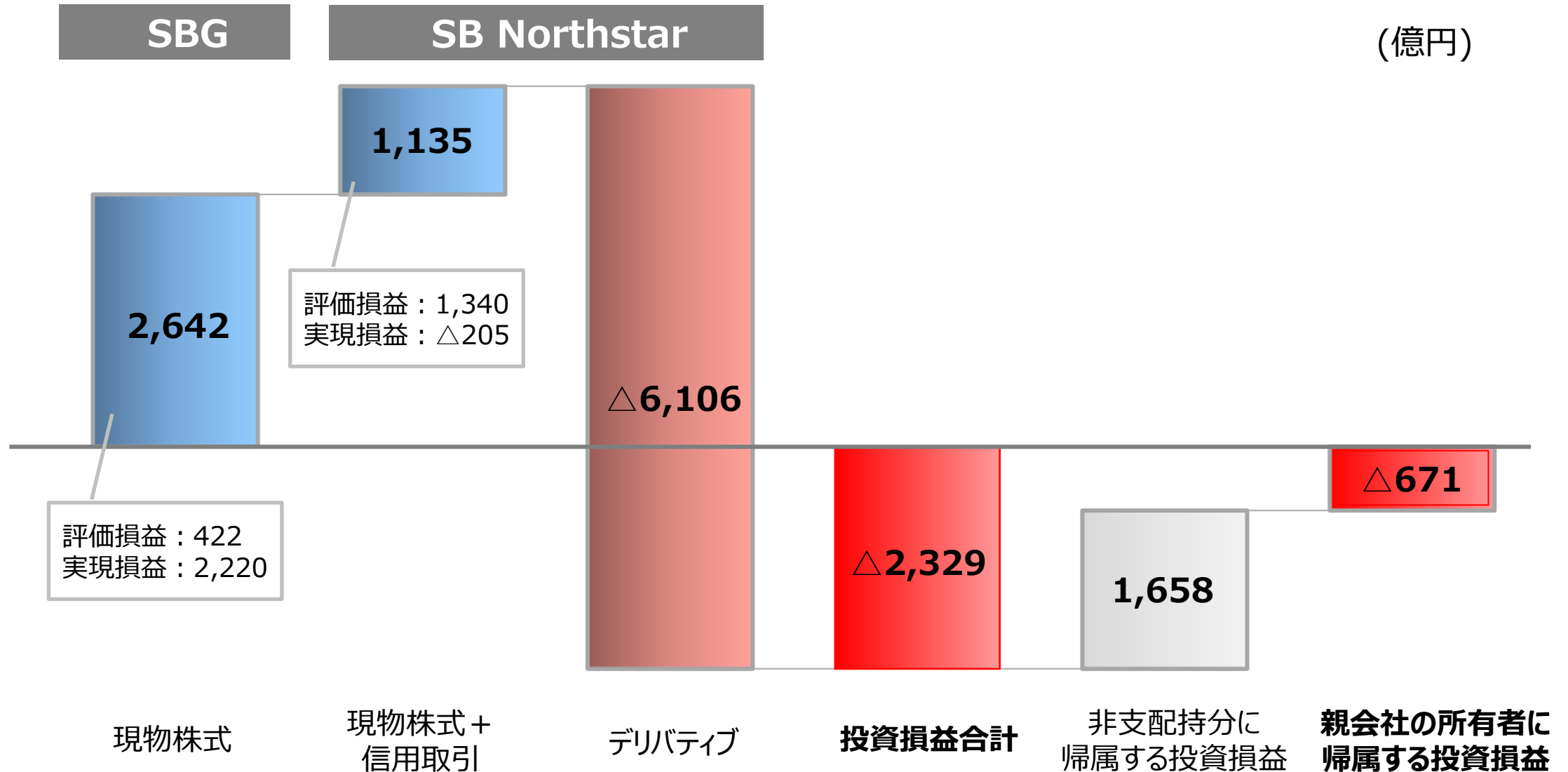
<公正価値の評価プロセス> SBIA は四半期ごとに英国の金融行為規制機構(FCA: Financial Conduct Authority)が発行したオルタナティブ投資ファンドマネージャー指針(AIFMD: Alternative Investment Fund Manager Directive)に準拠してSVF1およびSVF2(以下併せて「ファンド」)で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIA のポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家も関与することもあります。SVF1では、これと並行して、SVF1の投資アドバイザーボード(IAB: Investor Advisory Board)が、独立の投資評価者として複数の外部ファームを選任し、半期ごとにSVF1で実施された投資の独立評価を行っています。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、独立の投資評価者のレポートを十分に考慮の上、SBIAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会は SBIA の CEO、CFO、CRO、法務責任者、副CFOと上級投資専門家で構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はファンドの独立監査人であるテロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。評価結果はSBIA UK Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法> ファンドが適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、ファンドはIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にし、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法としても知られており、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義> SoftBank Vision Fund 1+2 (SBG (LP)+成功報酬)は、SBGによるファンドへの投資開始以来の合算の投資成績を表したものです。(以下に定義) 普通出資IRR(LP Net Equity IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資分に係る定率の固定報酬(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分に係る内部収益率を指します。2021年3月31日時点での普通出資持分に帰属するリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資格の実行額、投資関連の純資金調達額及びファンドの純資産価値を元に算出されています。普通出資IRR(Net Equity IRR (SBG (LP)+成功報酬))は、マネージャーとしての成功報酬(支払済み、未払い含む)の影響を調整した、SBGの普通出資持分に係る内部収益率(計算はLP Net Equity IRRと同様)を表しています。SVF1については、投資期間終了前に売却した投資案件に係る成功報酬は、全額支払いが行われており、クローリング条項の対象となります。2021年3月31日時点でのSVF2の出資コミットメントは普通出資持分のみで構成されており、SBGが唯一のリミテッド・パートナーとなります。ファンドの投資成績は直近でファンドが一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF1もしくはSVF2への引き渡しを行う義務はありません。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

上場株式等への投資：当期累計投資損益



※ 投資損益には、販売費及び一般管理費や税金費用などの影響を含まない

上場株式等への投資（2021年3月末現在）

（百万米ドル）

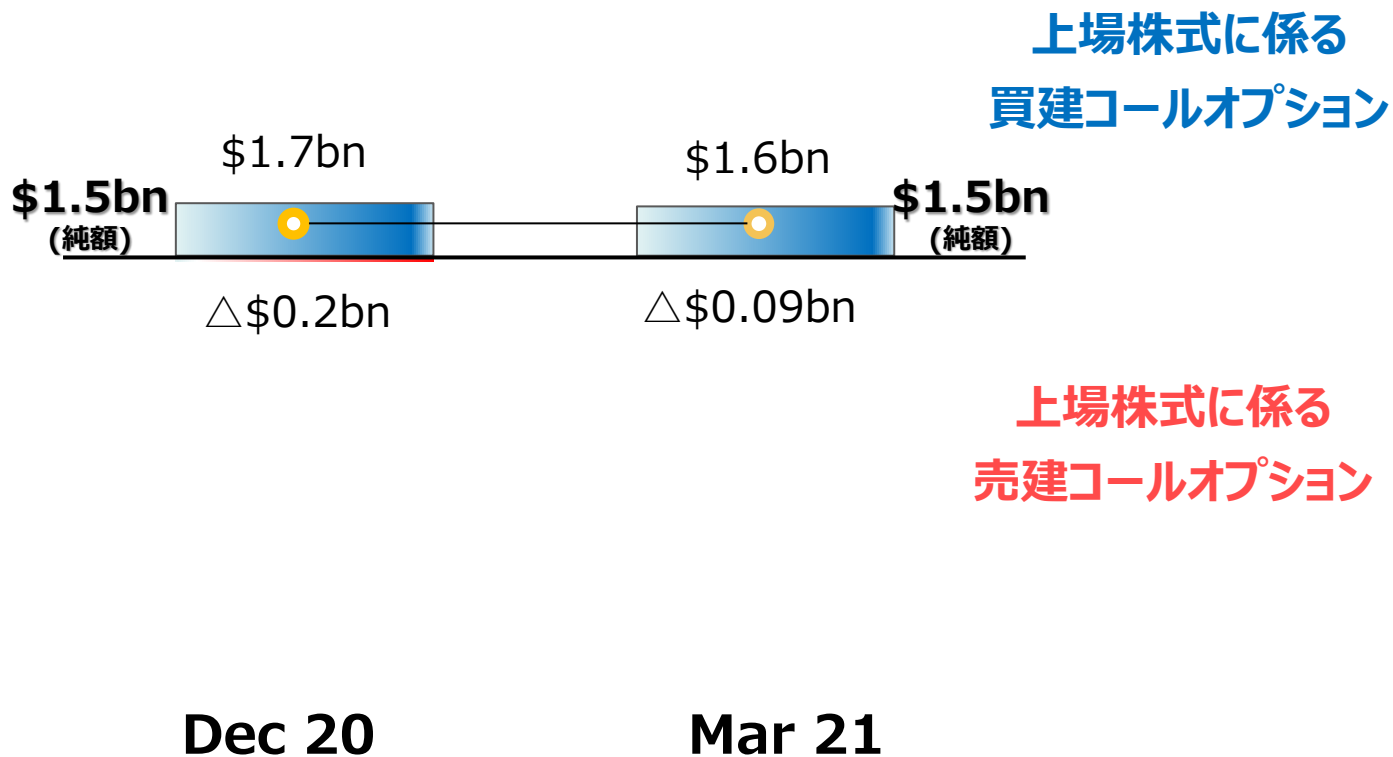
		公正価値
株式	Amazon.com	6,211
	Facebook	3,182
	TSMC ADR	1,320
	PayPal Holdings	1,180
	Microsoft	1,030
	Alphabet Class C	575
	salesforce.com	385
	Netflix	382
	Pacific Biosciences of California	328
	AbCellera Biologics	265
	SPACs※1	441
	その他	3,594
	NVIDIA※2	140
その他	転換社債	876
合計		19,907

※1 SBIA子会社のSPAC 3社（公正価値54百万米ドル）を含む。なお、SBIA子会社のSPAC3社への投資は、連結決算では内部取引として消去されます。

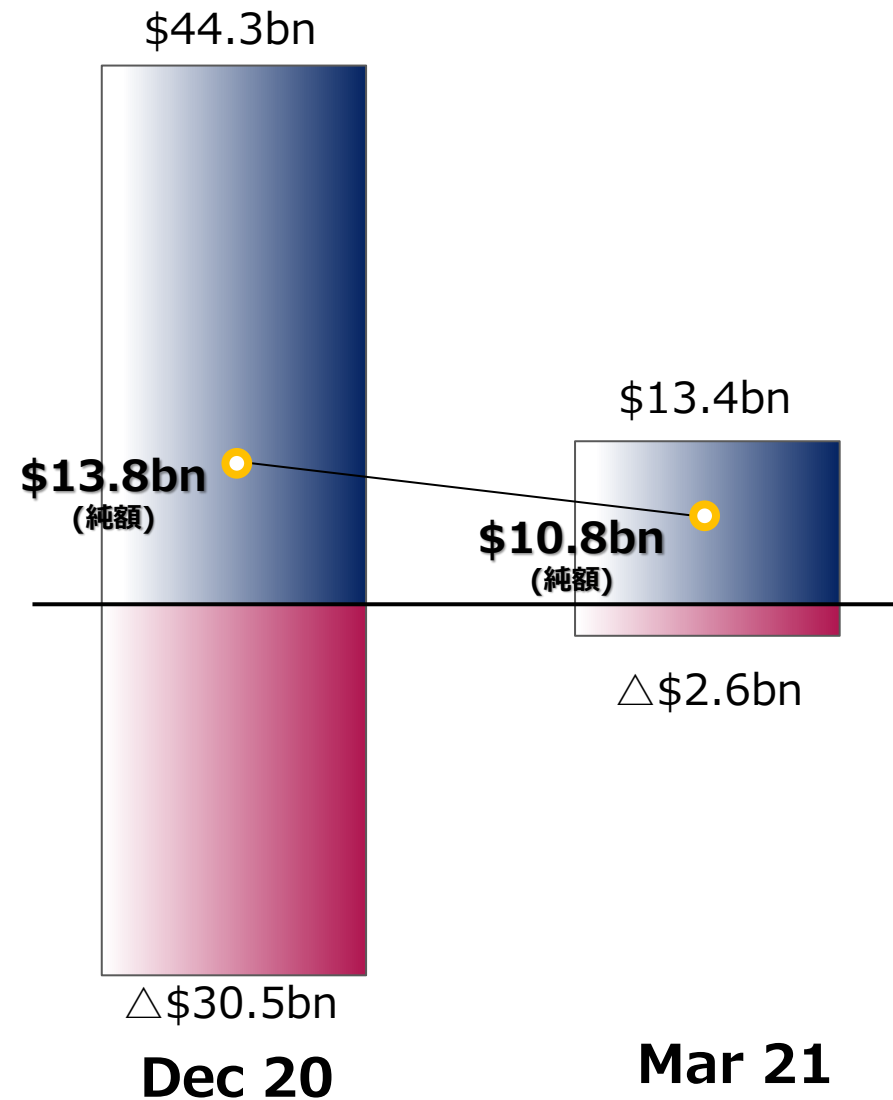
※2 NVIDIA Corporation株式はソフトバンクグループ（株）が保有

上場株式等への投資：オプション（2021年3月末現在）

公正価値



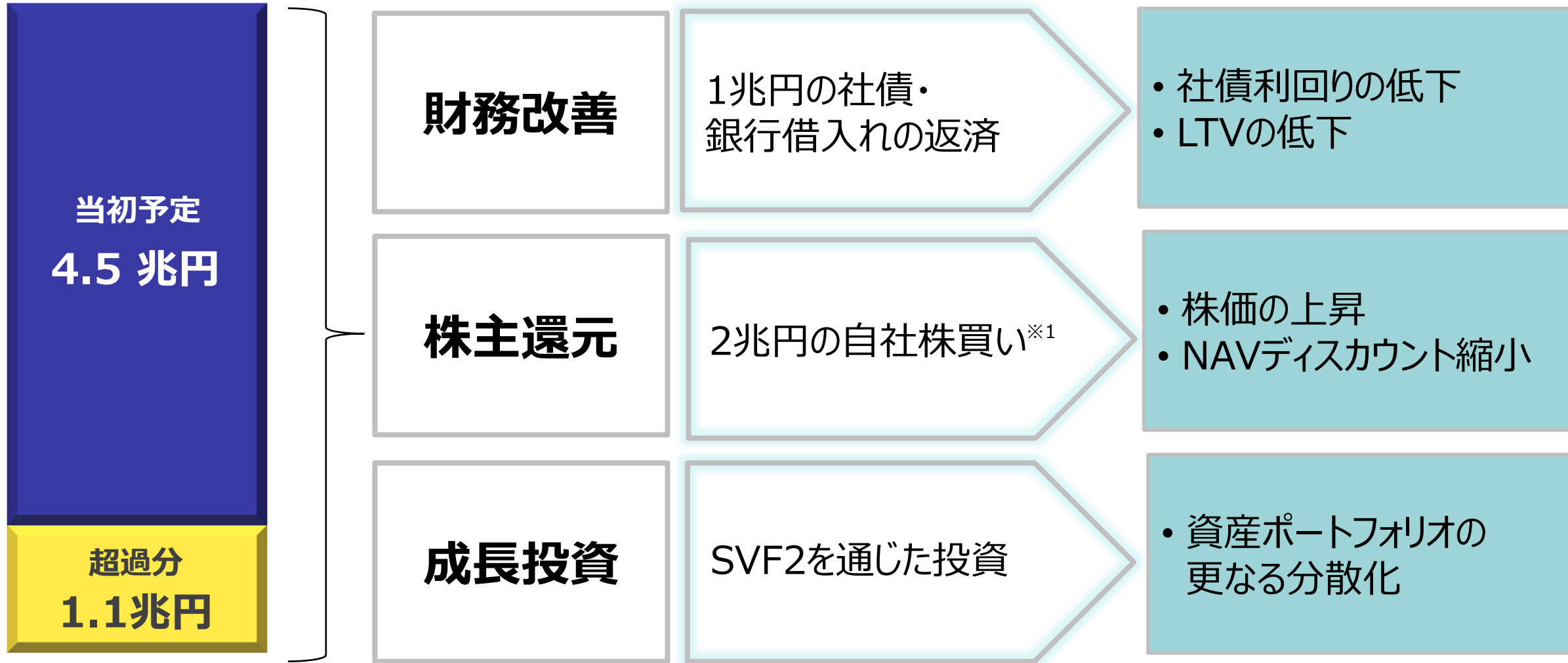
想定元本



- 投資事業の好調
- 保有資産の状況
- **4.5兆円プログラム**
- 財務の状況
- 財務戦略
- ESGの推進

4.5兆円プログラムの成果

当初の予定を上回る5.6兆円の資金化を実現



※1 4.5兆円プログラム以前に決定された自己株式の取得5,000億円（取得期間：2020年3月16日～2020年6月15日）を含めた場合、総額2.5兆円の自社株買い

1兆円の負債返済を実施

社債買入れ および 借入金の期限前返済

国内無担保社債の買入れ
(2020年7月)^{※1}

総額 **1,676** 億円 (額面総額)

外貨建普通社債の買入れ
(2021年3月)

総額 **2,249** 億円 (額面総額)

銀行借入の返済

総額 **6,100** 億円

**総額
1兆円
を返済**

※1 このほか、2020年6月に1,000億円、11月に500億円の国内社債を満期償還。当該償還資金は2019年発行の国内社債によって充当済み

財務改善：社債買入れ

4.5兆円プログラムに基づく社債買入れを実施 国内および海外の社債権者に応募機会を提供

外貨建て社債買入れ（2021年3月）

- 2019年1月の買入れ(約\$1bn※¹)を大きく上回る規模で実施
- シニア外債残高の17%を吸収
- 投資持株会社のビジネスモデルに合わせた要項変更を同時に実施（80%前後の賛成率）

買入額面

ドル建て：\$978mn
ユーロ建て：€898mn
合計：\$2,031mn
(2,249億円※²)

国内社債買入れ（2020年7月）

- リテール社債の買入れは国内初
- 国内で過去最大の社債買入れ
- SBGのクレジットスプレッドはタイト化基調へ

買入額面

1,676億円
(応募分全額買取り)

合計買入額面 **3,925億円**

※1 実施時の為替レート:1ユーロ= 1.1379米ドルで換算
※2 2021年3月末の為替レート: 1ドル=110.71円、1ユーロ=129.80円で換算

株主還元（自己株式取得）

2.5兆円の自社株買いを完了

自己株式取得

取得枠

（うち、4.5兆円プログラム）

2.5兆円

（2.0兆円）

取得総額※1

（うち、4.5兆円プログラム）

2.5兆円

（2.0兆円）

終了日

2021年5月12日

株価パフォーマンス
(2020/1/6 ~ 2021/5/12)



※1 2020年3月16日から2021年5月12日までの実績

アセットファイナンス除く

LTVの推移 ※1



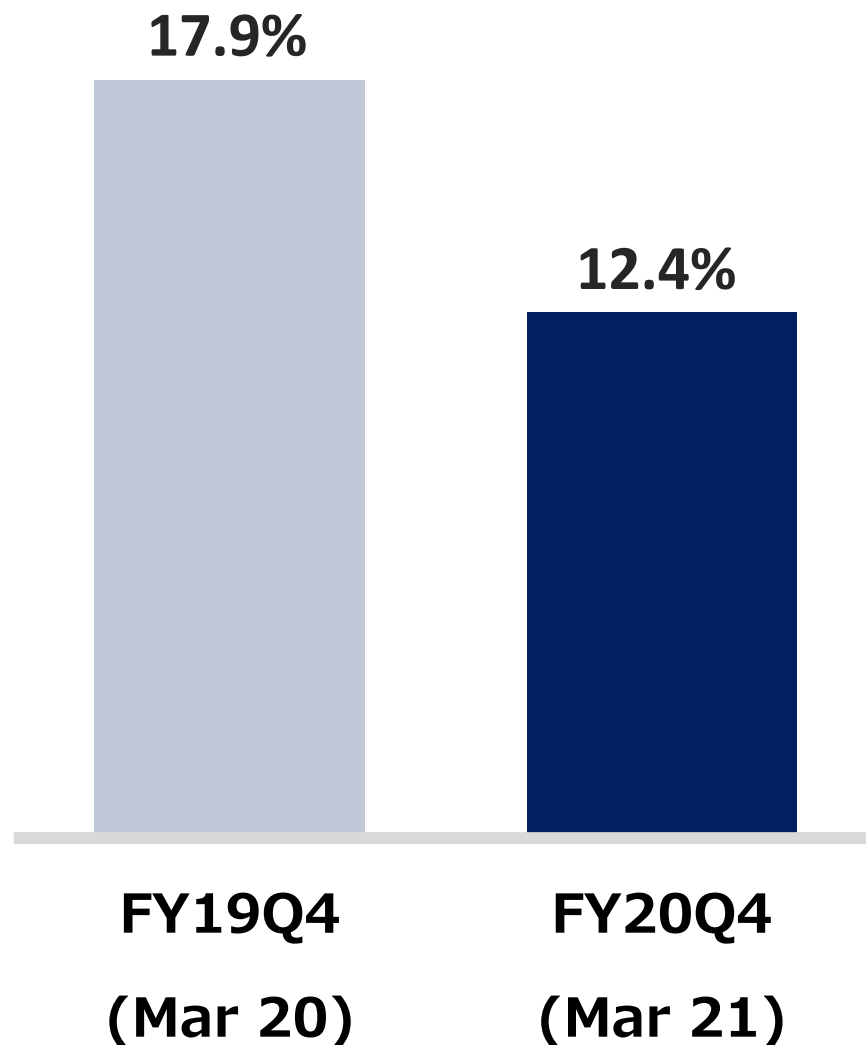
- 流動性の高い資産を活用した、迅速かつ大規模な資金化
- 市場環境に応じた機動的な財務運営を有言実行

※1 各四半期末時点の数値を記載

※2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」および「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」に記載

- 投資事業の好調
- 保有資産の状況
- 4.5兆円プログラム
- **財務の状況**
- 財務戦略
- ESGの推進

アセットファイナンス除く



**4.5兆円プログラムの完遂と
SVFの成長により大きな財務
バッファを確保**

※ 各四半期末時点の数値を記載

※ 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」および「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」に記載

保有株式を活用した資金化、リファイナンス、負債削減を機動的に実施

資金調達

国内ハイブリッド社債の発行※1（2月） : 1,770億円

アリババ株式を活用した借入（3月） : \$8.1B

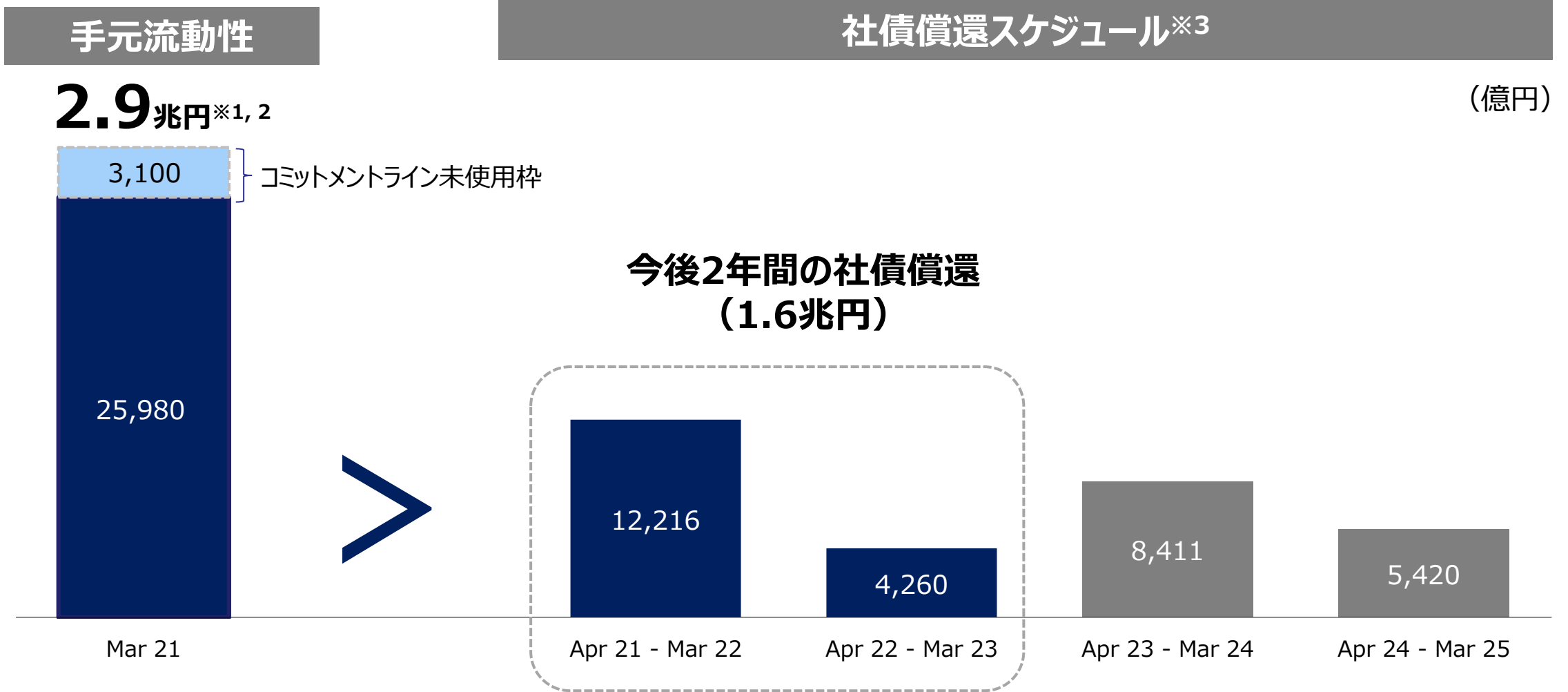
負債削減

外貨建てシニア社債の買入れ※1 および
コンセントソリシテーション（要項変更, 3月） : 2,249億円

※ 1USD=110.71円、1EUR=129.80円

※1 国内ハイブリッド社債の発行額・外貨建てシニア社債の買入は額面ベース

常に社債償還2年分を超える潤沢な手元流動性を維持



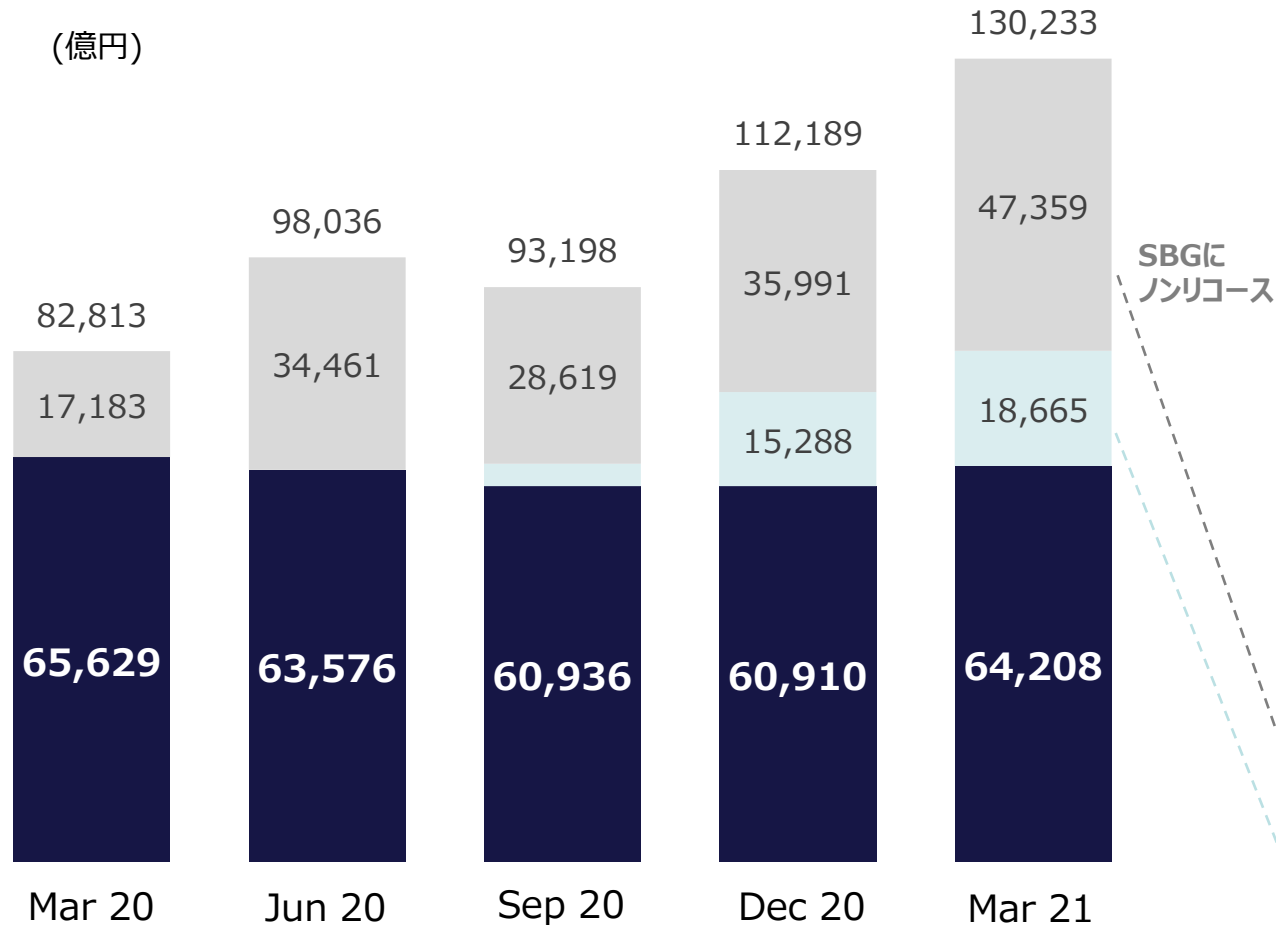
※1 現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース (SB Northstarを除く)

※2 2021年3月31日時点のコミットメントライン未使用枠は3,100億円

※3 社債償還金額はバイバックにより取得した自己保有社債を除く

ノンリコースを除いたSBG単体の有利子負債は横ばい

(億円)



2020年12月末からの主な変動要因	
• 国内ハイブリッド社債の発行 (2月)	+1,770億円
• アリババ株式を活用した借入 (3月)	+\$8.1bn
• 外貨建てシニア社債の買入れ (3月)	△2,249億円
• SB Northstar の短期借入金	+2,939億円

2021年3月末 内訳 (億円)

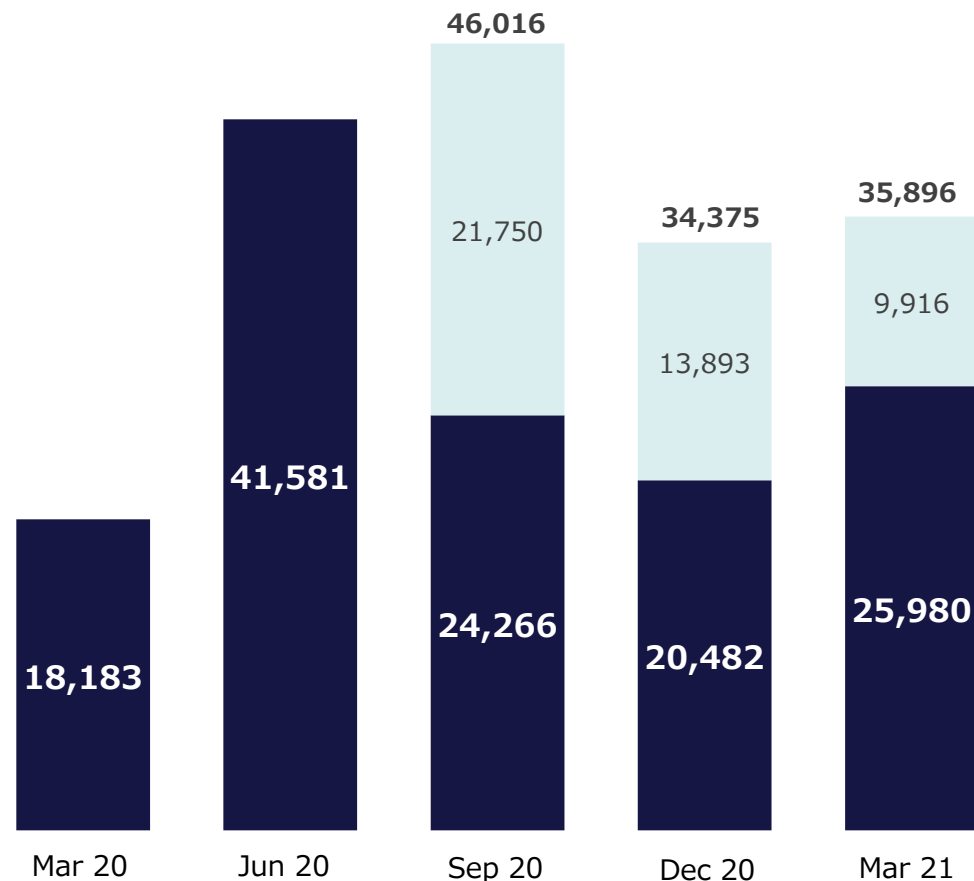
SBG 借入金	
銀行ローン	10,689
ハイブリッドローン	833
その他	7
小計	11,529
SBG 社債・CP	
国内シニア債	22,222
国内劣後債/ハイブリッド債	14,040
外債	11,193
CP	2,465
小計	49,920
SBG リース負債	
	134
子会社 有利子負債	
株式先渡契約金融負債	30,857
マージンローン (SBGにノンリコース※2)	16,502
(SBGにリコース※2)	2,239
SB Northstar	18,665
その他	386
小計	68,649
合計	130,233

※1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

※2 Tモバイル株式を担保としたマージンローン(借入総額\$4.38bn)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$2.02bn)を控除した\$2.36bnをノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています。尚、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージンローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられています

株主還元と投資の拡大を両立しつつ、潤沢な手元流動性を維持

(億円)



SB Northstar 手元流動性 (現預金+資産運用子会社からの投資)

… 担保差入有価証券※1が増加したことにより、手元流動性は減少

2020年12月末からの主な変動要因

増加	減少
<ul style="list-style-type: none"> Alibaba株式を活用した借入 (+\$8.1bn) SB Northstarからの返済 (+5,728億円) 銀行ローン・CPの増減 (+3,072億円) 国内ハイブリッド社債の発行 (+1,770億円) 	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式取得 (△6,184億円) SVF2キャピタルコール (△2,492億円) その他投資 (△3,244億円) 外貨建てシニア社債の買入れ (△2,249億円)

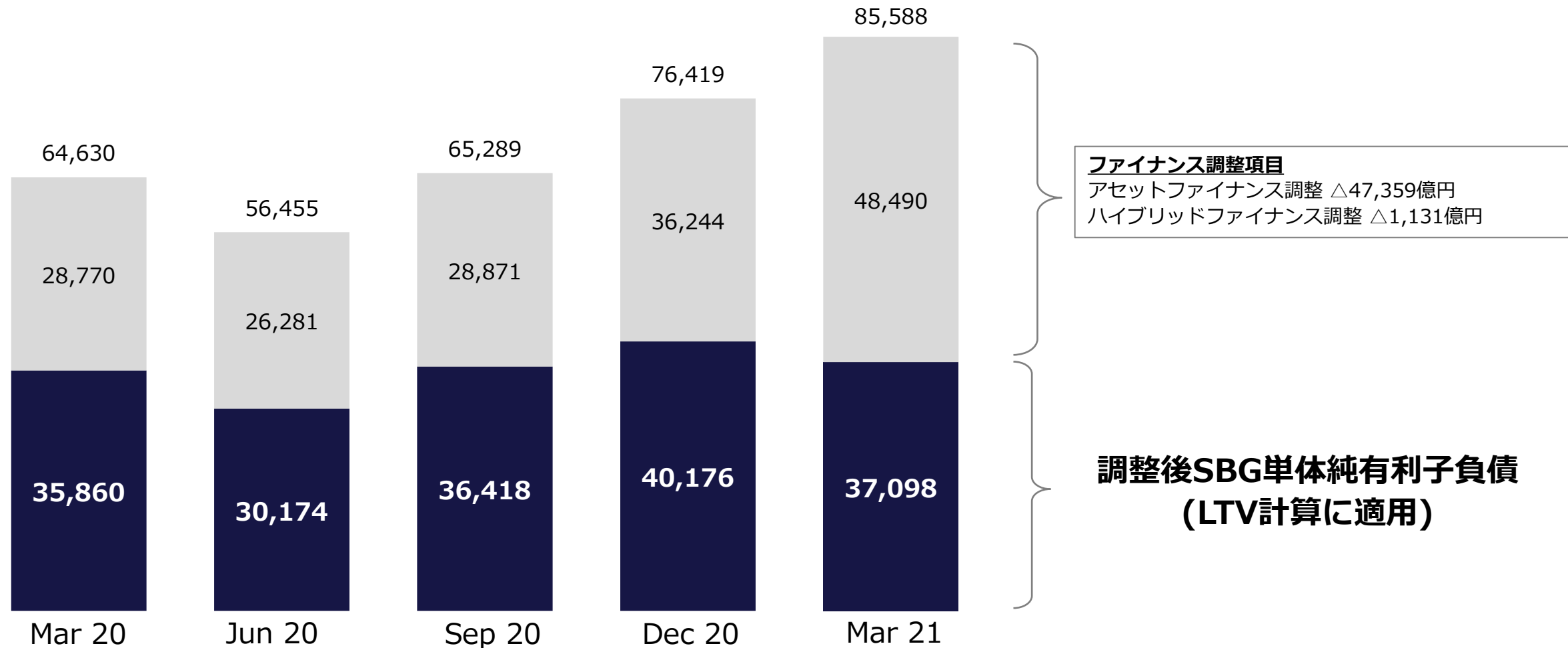
※ 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(売買目的有価証券等)。SBG単体ベース

※1 担保付借入の担保として差し入れた有価証券のうち、担保受入者が売却または再担保に差し入れることのできる有価証券を「資産運用子会社からの投資」から区分し、連結財政状態計算書上、「資産運用子会社における担保差入有価証券 (流動)」として表示

厳格なLTVの管理の下、一定水準で推移

SB Northstar除く

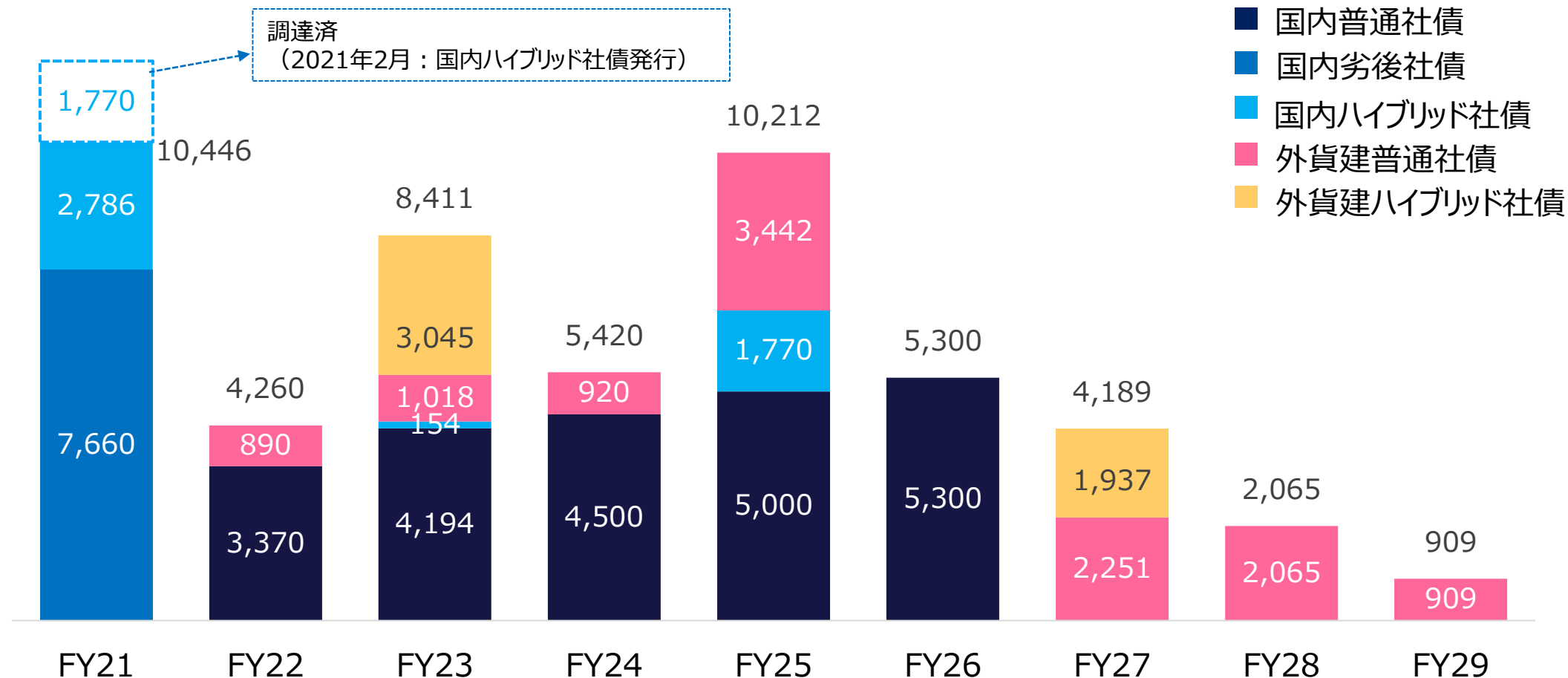
(億円)



※ 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」に記載

リファイナンスを中心に多様な返済オプションを検討

(億円)



※ 2021年3月31日時点発行残高
 ※ ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
 ※ 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=110.71円にて換算
 ※ バイバックにより取得した自己保有社債を除く

- 投資事業の好調
- 保有資産の状況
- 4.5兆円プログラム
- 財務の状況
- **財務戦略**
- ESGの推進

投資会社として最適な財務戦略の確立

財務方針の堅持

投資事業の拡大
再生産を可能に
する財務運営

1. 通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)

2. 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3. SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保

投資先の財務は
独立採算

救済投資は
行わない

投資会社として最適な財務戦略の確立

財務方針の堅持

投資事業の拡大
再生産を可能に
する財務運営

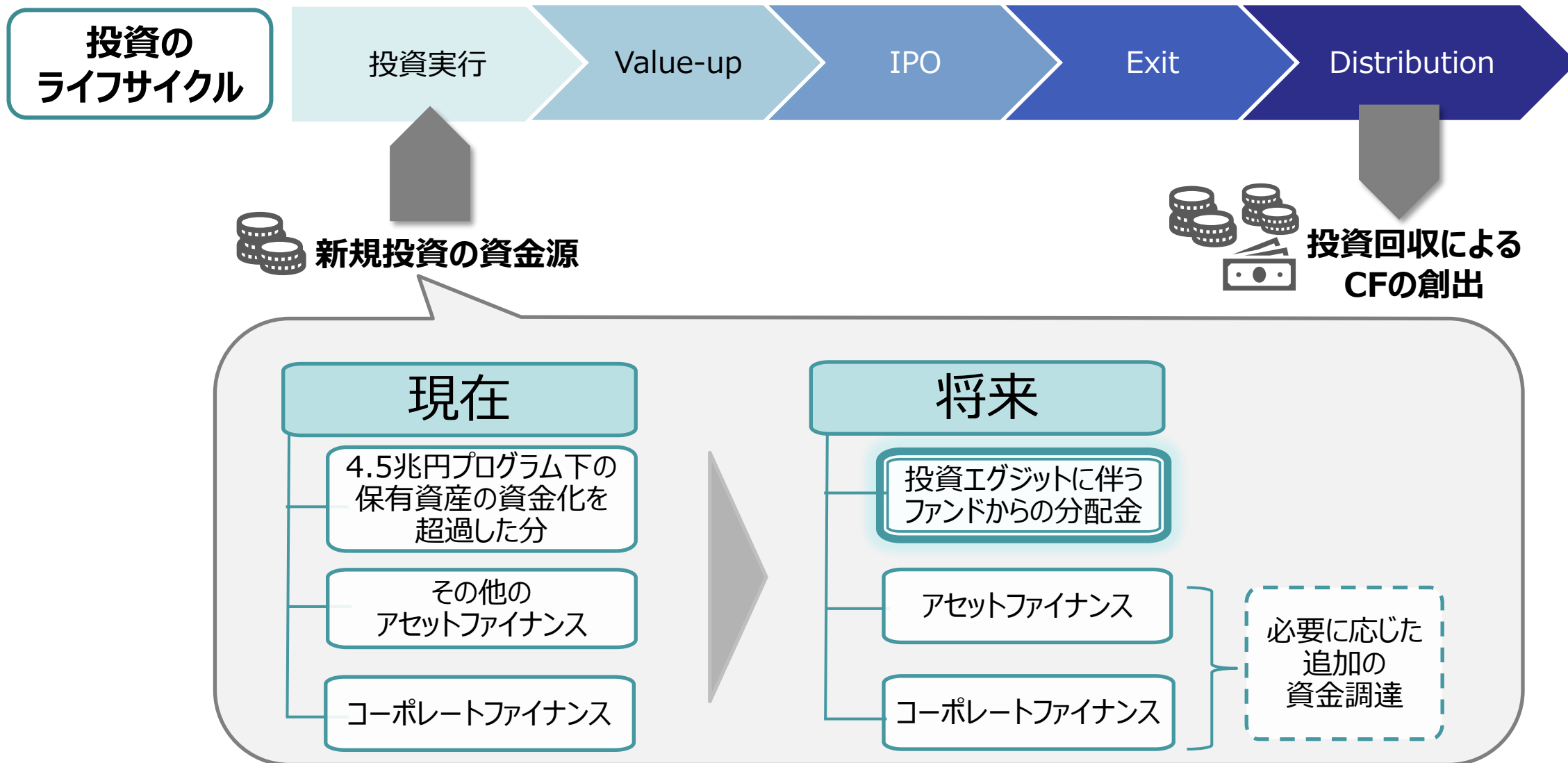
投資と回収の サイクルを確立

- 「投資」→「回収・CFの創出」→「再投資」のサイクルを確立
- 必要投資資金を十分に上回る回収時には、ステークホルダーへの還元も考慮
- 危機時には保有資産の資金化等による財務改善を優先

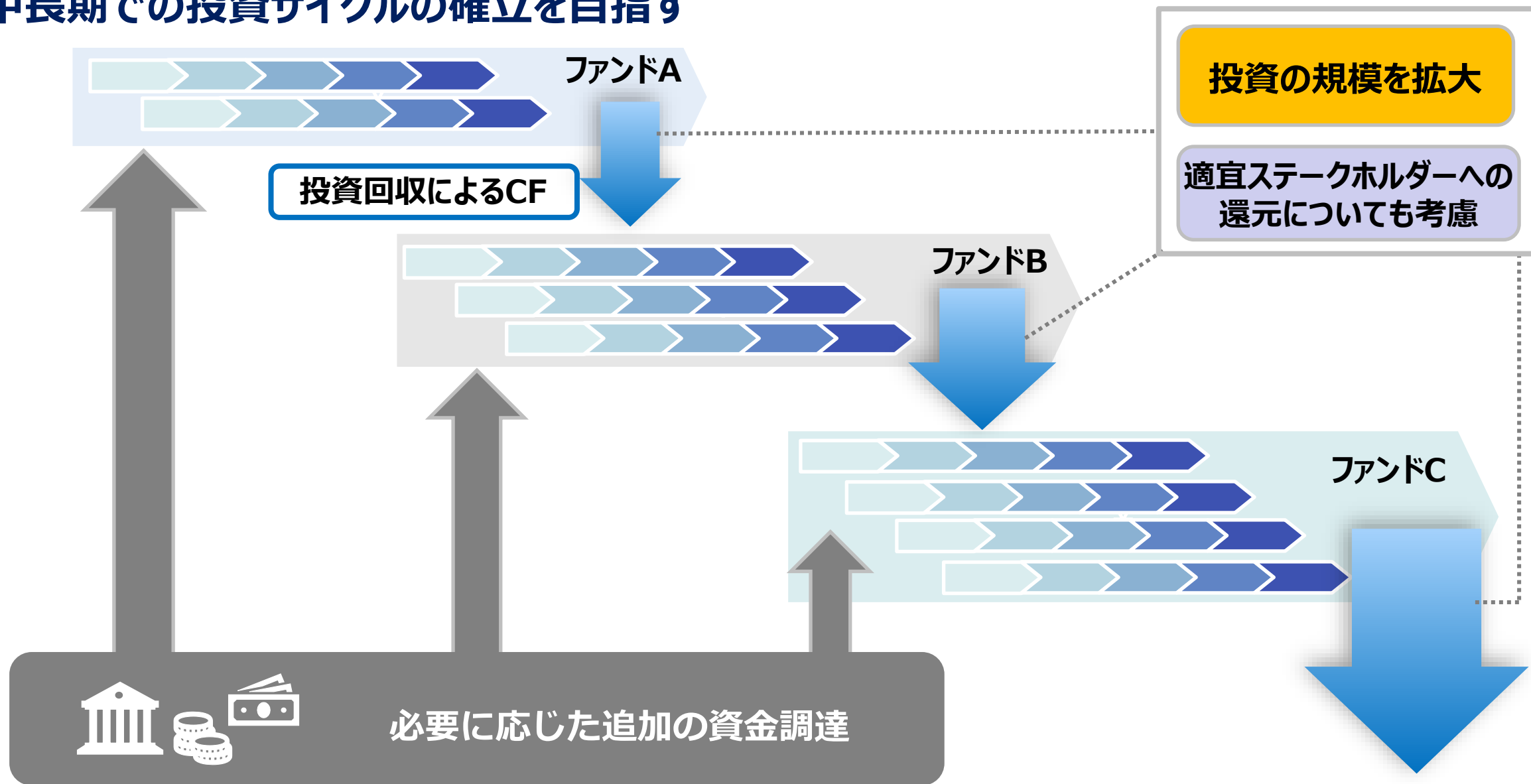
魅力的な投資機会を 捉える資金調達

- LTVを意識したレバレッジの活用
- 多様な調達手段の最適ミックス（手法 / 市場 / プロダクト等）
- 市場・金融機関との対話を重視

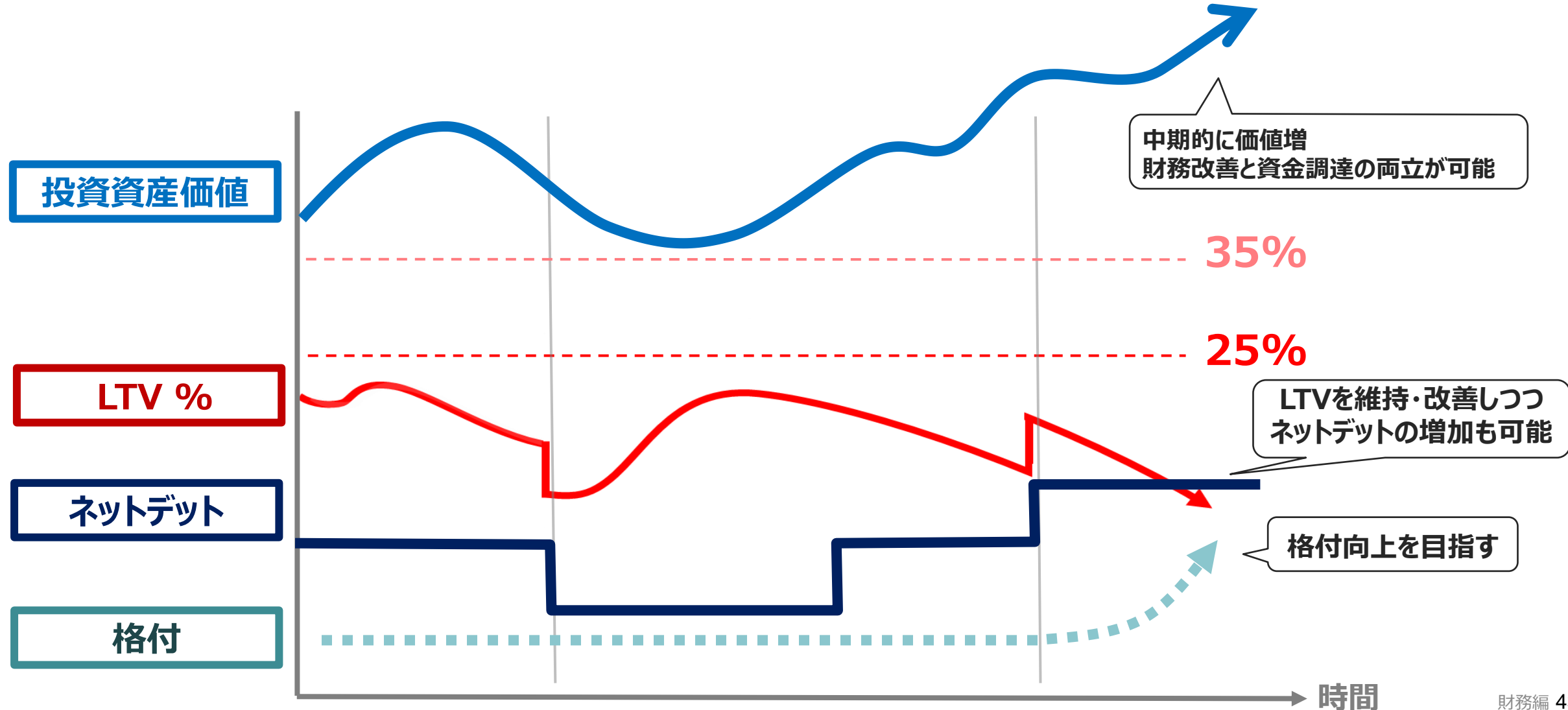
将来の新規投資資金源の一つは、投資エグジットによるキャッシュイン



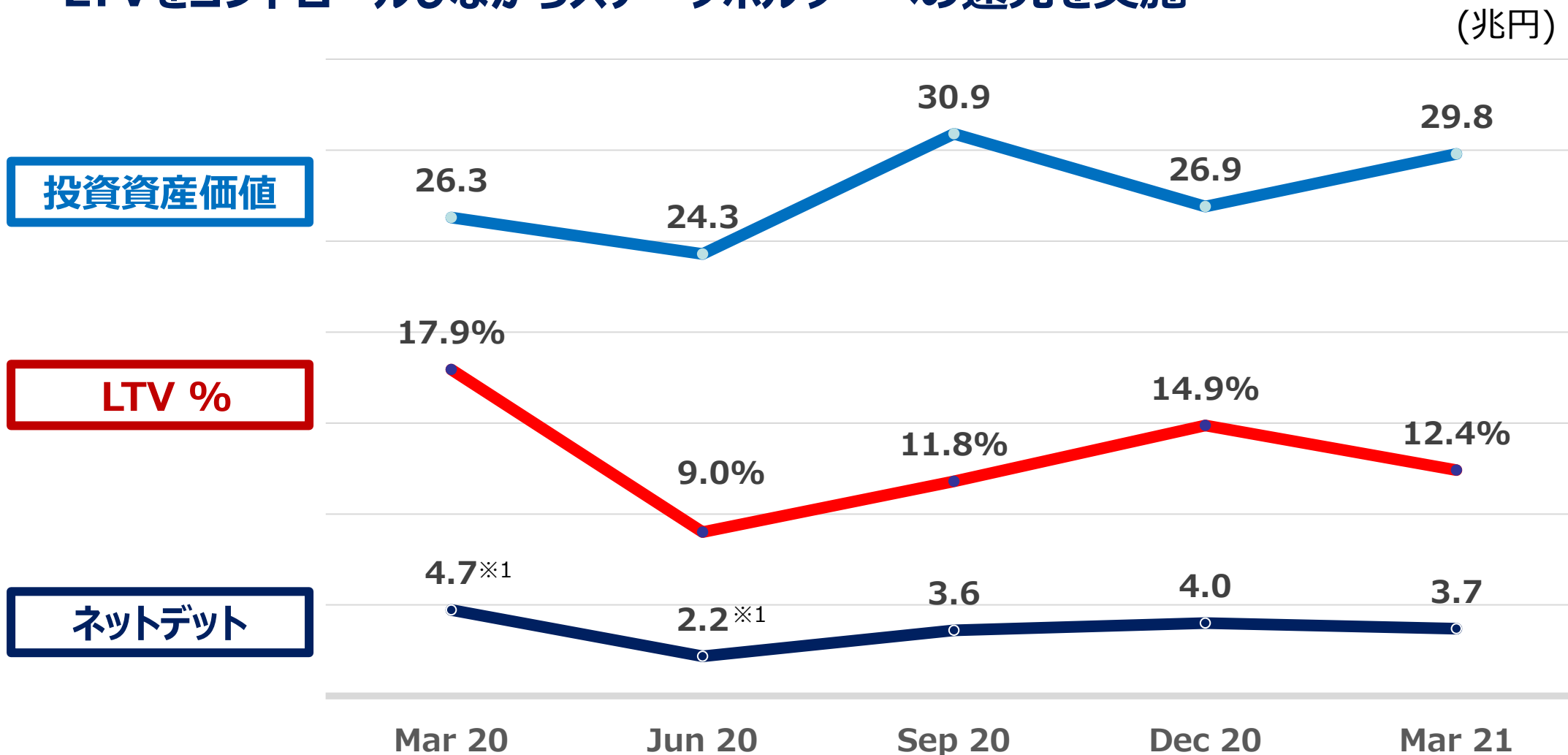
中長期での投資サイクルの確立を目指す



投資の拡大再生産のため資金調達を継続するが、財務規律を守り、ネットデットの増加はアセットの成長より緩やかになるよう運営



コロナ影響下の市場で保有資産の大規模な資金化。
LTVをコントロールしながらステークホルダーへの還元を実施



※1 LTV計算に用いるネットデット（純有利子負債）から、各四半期末当時における後発事象の影響を除いた数値

-
- 投資事業の好調
 - 保有資産の状況
 - 4.5兆円プログラム
 - 財務の状況
 - 財務戦略
 - **ESGの推進**

基盤構築、取り組み強化、情報開示の拡充を推進

<h3>1. 基盤構築</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ・チーフ・サステナビリティ・オフィサー(CSusO) 任命 ・サステナビリティ委員会の新設
<h3>2. 取り組み強化</h3>	<p><環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境ポリシーの制定 ・カーボンニュートラルへの取り組み (Arm、ヤフー、SBKK) <p><社会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性と包摂への取り組み (SB Opportunity Fund、Emerge) ・新型コロナウイルス対応 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 未曾有のパンデミックに対し、迅速・最大級の支援を展開 ✓ 防護具提供、抗体検査キット提供、PCR検査センター設立 <p><ガバナンス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・取締役会の構成変更(社外取締役比率や多様性の向上) ・指名報酬委員会を新設 ・チーフ・リスク・オフィサー(CRO)任命、リスク管理室を新設 等
<h3>3. 情報開示の拡充</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBサイトの情報開示拡充 ・サステナビリティレポートの発行

温室効果ガス削減の積極推進

- 各事業領域において温室効果ガス削減目標を設定
- 再生エネルギー事業を通じた温室効果ガス削減を継続



**2030年までの
ネットゼロカーボン
コミット**



**『2023年度
100%再エネチャレンジ』
を宣言**



**『カーボンニュートラル
2030宣言』
の発表**



**メガソーラー発電所
新たに5カ所の
運転開始**

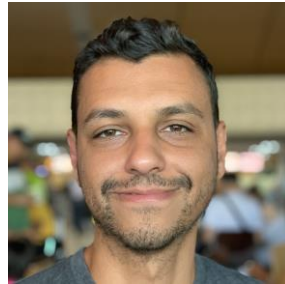
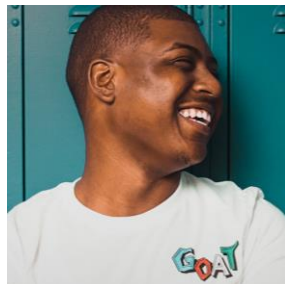


FY21以降

- SBG単体としてカーボンニュートラルを目指す
- ソフトバンクグループ全体としての温室効果ガス削減目標を検討

SB Opportunity Fund

- 人種的マイノリティを対象とする米国最大のVenture Fund (1億米ドル)
- 28社に投資 (2021年5月12日現在)



Emerge

- マイノリティ起業家を支援するアクセラレータープログラム
- プログラム参加者のうち13社に投資 (2020年12月末現在)



(プログラムの参加者)

FY21以降

多様性のある社会の構築を目指し、秀でたマイノリティ起業家支援を継続

SB新型コロナウイルス検査センター(株)設立

未曾有のパンデミックに際し、迅速かつ最大級の支援を展開

- ・ PCR検査センター 東京・札幌・福岡の**3カ所** 開設
- ・ 申込法人延数 **約 7,100法人・団体等**
- ・ 検査可能数 **約 20,000件/日** (日本全体の約10%*)
*厚生労働省の公開データより算出
- ・ 総検査数 **約 950,000件**



PCR検査の導入先

自治体等	東京都、札幌市等
民間企業等	千葉工業大学 B.LEAGUE ホテルオークラ札幌 等

FY21

新型コロナウイルス変異株への対応を進め、感染経路把握や感染予防に貢献していく

FY20の実績

取締役報酬決定プロセス
透明性向上

指名委員会の設置および開催、機能の強化（審議対象者の拡充）

取締役会の構成

社外取締役比率や多様化（ジェンダー・国籍）の向上、執行体制の変更

投資先のガバナンス

投資ガバナンスポリシーに関する報告（投資先のガバナンスのモニタリングと評価）

リスクマネジメント

リスク管理室新設、CROの着任

情報開示

更なる開示の充実（資産運用子会社関連等）

重要情報管理・評判リスク

グローバルに全社でベストプラクティスを目指す

機動的な意思決定とリスク軽減のバランスを重視しながら、戦略的投資会社にふさわしいガバナンスを実装



**透明性の向上・信頼の向上
（資本市場の理解を得る）**

投資事業へのサステナビリティ統合

これまでの取り組み

- ・「情報革命で人々を幸せに」の経営理念の下、**環境・社会に配慮した投資や事業を既に実践**
- ・SVF1とSVF2の投資プロセスにおいてもESG評価を実施

	セクター	主な会社	貢献内容
SVF1 SVF2	トランスポーテーション	DiDi Autonomous	交通事故の削減
	ヘルステック		新薬開発の加速化、病気の予防で人々の福利厚生を改善
	エドテック		より多くの人に教育環境を安価で提供



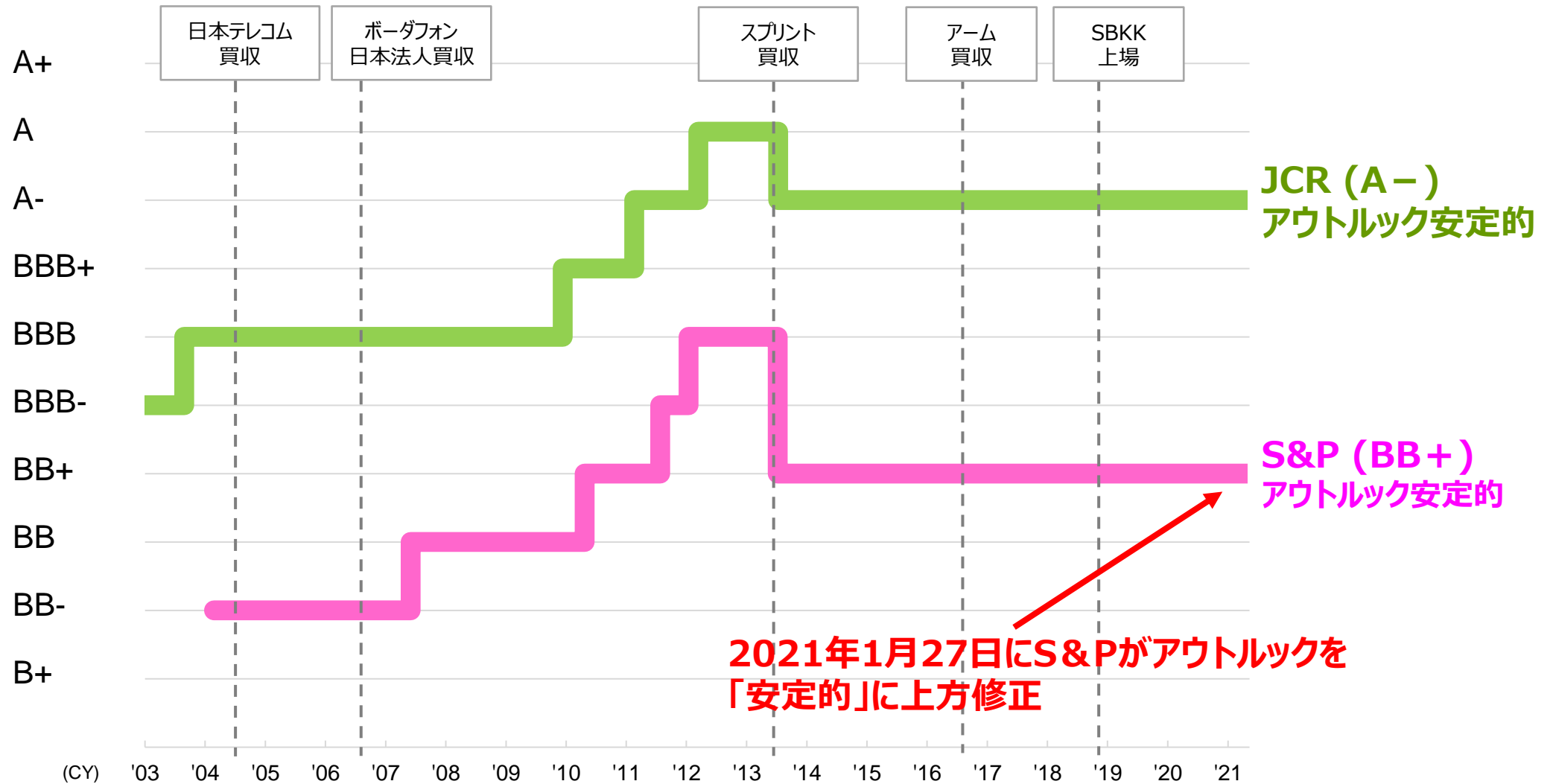
FY21

当社のESGへの取り組み姿勢を投資プロセスに組み込む

- ・「ポートフォリオ会社のガバナンス・投資指針に関するポリシー」を改定（2021年4月）
- ・ガバナンス要素のみならず環境・社会要素に起因する機会とリスクを評価、投資判断や投資後のモニタリングに活用

Appendix

投資持株会社の格付規準のもと、格付の向上を目指す



※ 2021年5月11日時点

(L) 調整後
SBG単体 純有利子負債^{※1}

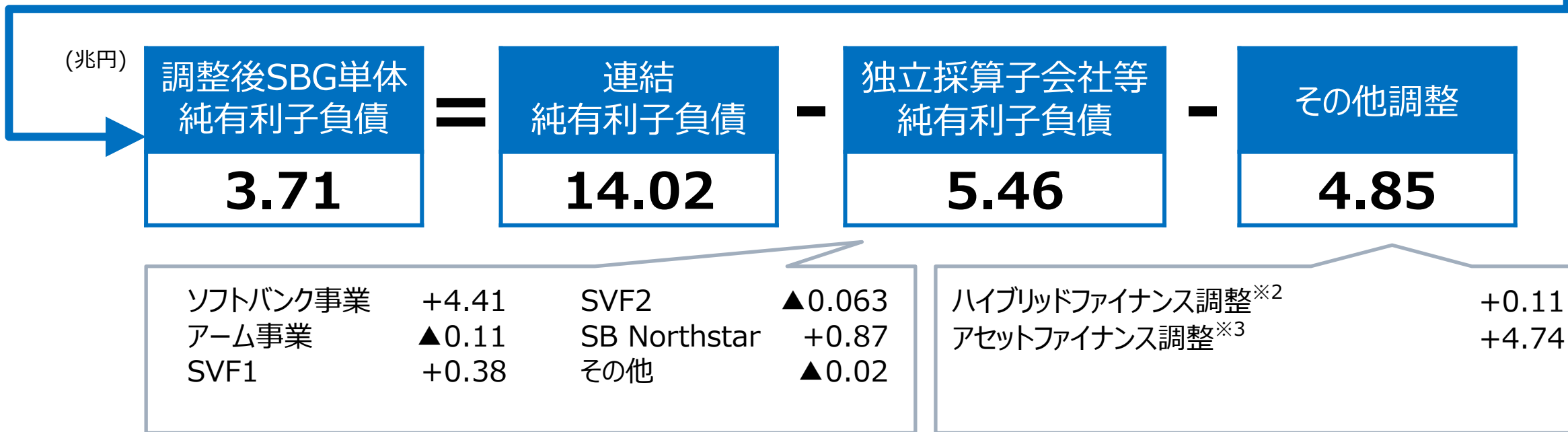
3.71兆円

=

12.4%

(V) SBG単体 保有株式価値

29.81兆円



※1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。ジャパンネット銀行（現PayPay銀行）の（銀行業の預金－手元流動性）は含まない

※2 2017年7月発行のハイブリッド債は、連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入。

2016年9月・2021年2月発行のハイブリッド債および17年11月実行のハイブリッドローンは、連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除

※3 純有利子負債は以下の金額を考慮

a) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（カラー契約）に係る株式先渡契約金融負債（30,857億円）、SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額（4,987億円）およびアリババ株式を活用したマージンローン負債残高相当額（8,941億円）の合計

b) Tモバイル株式を活用したマージンローンの負債残高相当額（4,813億円）のうちノンリコースのアセットファイナンスとして金額（2,239億円）を純有利子負債から控除。（Tモバイル株式を担保としたマージンローン（借入総額4.38bn）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠（\$2.02bn）を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています。なお、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージンローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられています。）

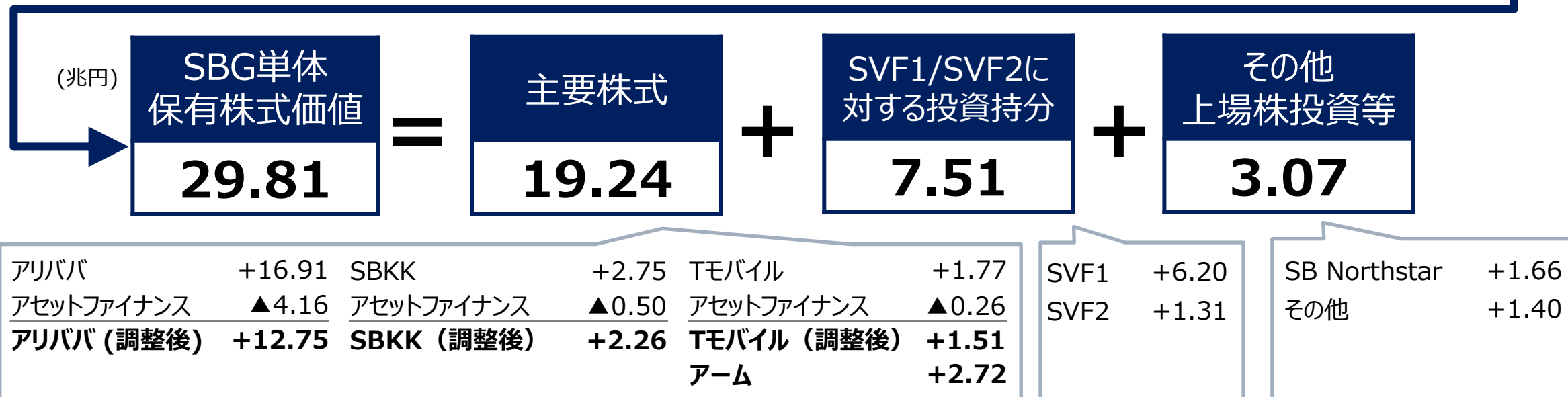
LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債 3.71兆円

(V) SBG単体 保有株式価値

29.81兆円

= 12.4%

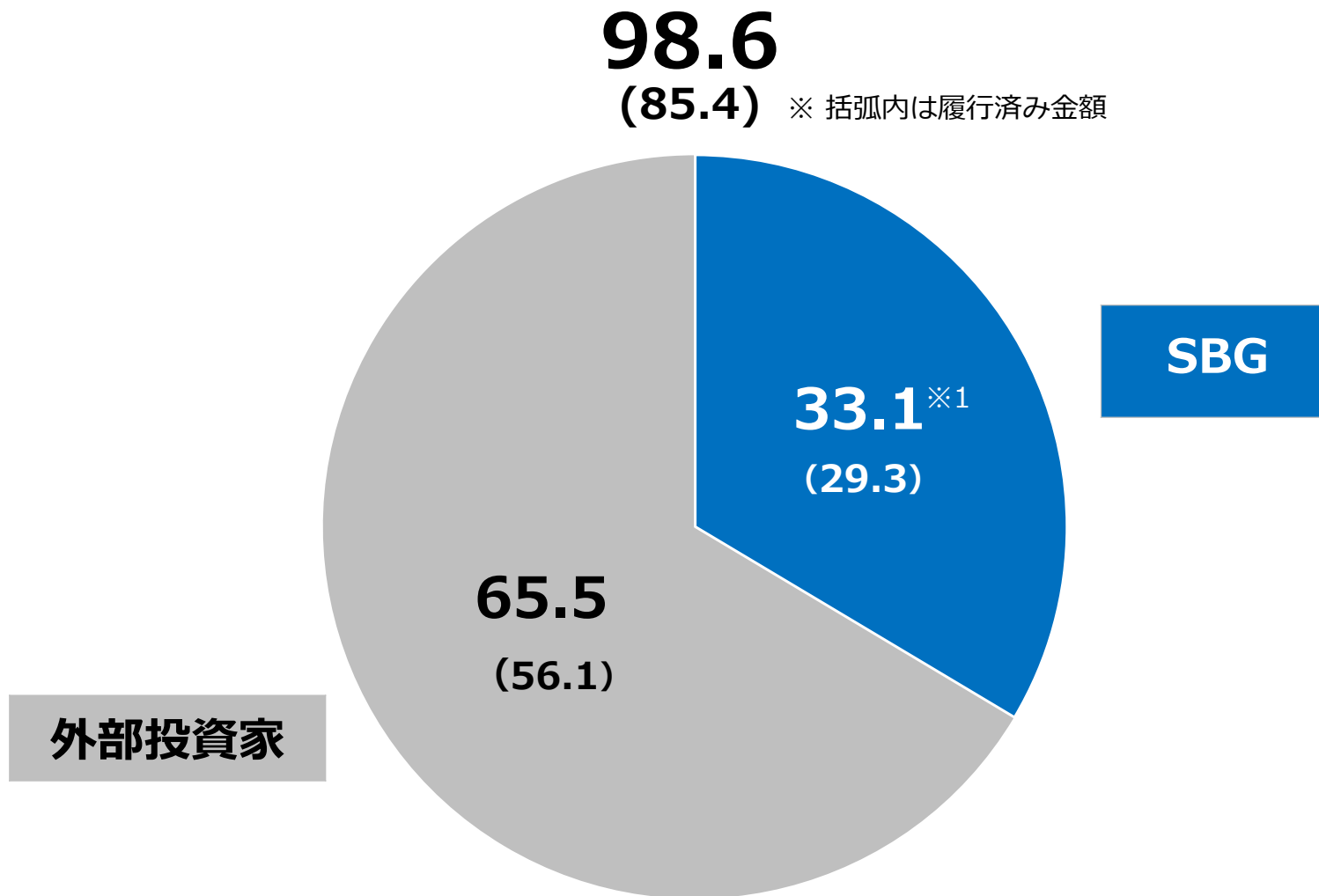


※ 上場株価および為替レートは、2021年3月末時点

- アリババ: SBGの保有株式数に同社の株価を乗じて算出。下記の同社株式を活用したアセットファイナンスの決済に必要な金額を控除
同社株式を活用した複数の先渡売買契約（カー契約・コールスプレッド）の満期決済金額（2021年3月31日の同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額（26,055億円）
- SB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額（6,626億円）およびアリババ株式を活用したマージンローン負債残高相当額（8,941億円）を控除
- SBKK: SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出。同社株式を活用したマージンローン負債残高相当額（4,987億円）を控除
- Tモバイル: SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出（ドイツテレコムが受領した株式購入オプションの対象となる株式数(101,491,623株)を含む）。一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値およびTモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連し、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値を加算。
ドイツテレコムが受領した株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額およびTモバイル株式を担保としたマージンローンの負債残高相当額（4,813億円）のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしている金額（2,239億円）を控除。
（Tモバイル株式を担保としたマージンローン（借入総額\$4.38bn）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠（\$2.02bn）を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています）
- アーム: SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SVF1: SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2の保有資産価値相当 + 成功報酬の見込み金額
- 上場株投資: SB NorthstarのNAV（Net Asset Value）に対するSBGの持分等にSB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額（6,626億円）を加算して算出
- その他: 上場株式は、SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出。非上場株式はSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

SVF1 : コミットメント状況 (2021年3月末)

(\$ bn)



※1 SVF 1 への当社の出資コミットメントは、Arm Limited株式を活用した約82億米ドル相当の支払義務履行分（全該当株式を抛済済み）のほか、SVF 1 に関連するインセンティブ・スキームへ活用される予定の25億米ドルを含む

SVF1：投資成果 (2021年3月末時点)

(\$ bn)		(a) 投資額 ^{*2}	(b) 時価 (グロス) ^{*1}	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)
(A)	上場投資 合計 ^{*3}	\$15.7	\$60.4	+\$44.7
(B)	未上場投資等 合計	\$70.1	\$80.3	+\$10.2
(C)=(A)+(B)	SVF1 合計 (SBG連結目線)	\$85.7	\$140.7	+\$54.9
		(d) 累計支払額	(e) 価値合計	
	SBG 合計 (ネット)	\$27.1	\$57.4	
(内訳)	SVF1の純資産価値におけるSBGの持分		\$46.1	
	SBGへ分配済の金額 ^{*4}		\$1.7	
	SBGが受け取る成功報酬 ^{*5}		\$9.6	

1. 時価(グロス)=売却前の投資先の公正価値+売却済の投資先の売却価額+投資先からの受取配当金。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前。

2. 投資額：SVF1開始から2021年3月31日までの累計投資額。売却済または一部売却済の投資を含む。

3. SVF1からの初期投資以降に上場した銘柄の合計

4. SBGへ分配済の金額：SVF1開始時から2021年3月31日までに分配済の金額。

5. SBGが受け取る成功報酬：SBIA UKを通じて、SVF1開始時から2021年3月31日までにファンドの運営管理者として得た成功報酬の合計。

SBG連結目線：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めない。

SVF1 : 上場投資 (2021年3月末時点)

(\$ mil)	会社名	(a) 投資額	(b) 時価 (<small>※2</small> グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (<small>※2</small> グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 <small>※3</small>
	Coupang	2,729	28,039	+\$25,310	10.3x
	Doordash	680	8,258	+\$7,578	12.1x
	Uber	7,666	12,074	+\$4,408	1.6x
	Guardant Health	308	2,880	+\$2,572	9.4x
	Auto1	741	2,301	+\$1,560	3.1x
	Opendoor	450	1,560	+\$1,110	3.5x
	Vir Biotechnology	199	1,160	+\$961	5.8x
全持分売却済	Slack	334	1,007	+\$673	3.0x
	Relay Therapeutics	300	965	+\$665	3.2x
全持分売却済	Ping An Good Doctor	400	828	+\$428	2.1x
全持分売却済	10x Genomics	31	338	+\$307	10.9x
	OneConnect	100	66	-\$34	0.7x
	ZhongAn	550	430	-\$120	0.8x
	View	1,175	490	-\$685	0.4x
(A)	上場投資 合計 (グロス) <small>※1</small>	\$15,663 (1.7兆円)	\$60,393 (6.7兆円)	+\$44,730 (+5.0兆円)	3.9x
(B)	未上場投資 [※]	\$70,061	\$80,266	+\$10,205	
(A)+(B)	SVF1 合計 (SBG連結目録)	\$85,724	\$140,659	+\$54,935	

1ドル = 110.71円(2021年3月31日TTM)で換算

1. 上場投資 合計：SVF1からの初期投資以降に上場した銘柄の合計

2. 時価(グロス) = 売却前の投資先の公正価値 + 売却済の投資先の売却価額 + 投資先からの受取配当金。売却済の投資先の売却価額及び投資先からの受取配当金は取引手数料、税金および諸費用考慮前。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前のリターンを掲載。

3. 倍率：Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。管理報酬、成功報酬、支払利息、その他の費用を控除しない総額ベースにて算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出する必要がないため掲載していない。

SBG連結目録：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含まない。

SVF2 : 投資成果 (2021年3月末時点)

(\$ bn)		(a) 投資額 ^{*2}	(b) 時価 (グロス) ^{*1}	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)
(A)	上場投資 合計	\$1.6	\$6.2	+\$4.7
(B)	未上場投資等 合計	\$5.1	\$5.0	-\$0.1
(C)=(A)+(B)	SVF2 合計 (SBG連結目録)	\$6.7	\$11.2	+\$4.5
		(d) 累計支払額	(e) 価値合計	
	SBG 合計 (ネット)	\$6.8	\$11.8	
(内訳)	SVF2の純資産価値におけるSBGの持分		\$10.7	
	SBGへ分配済の金額 ^{*3}		-	
	SBGが受け取る成功報酬 ^{*4}		\$1.1	

1. 時価(グロス)=売却前の投資先の公正価値。諸費用等考慮前。

2. 投資額：SVF2開始から2021年3月31日までの累計投資額。

3. SBGへ分配済の金額：SVF2開始時から2021年3月31日までに分配済の金額。

4. SBGが受け取る成功報酬：SBIA UKを通じて、SVF2開始時から2021年3月31日までにファンドの運営管理者として得た成功報酬の合計。

SVF2 : 上場投資 (2021年3月末時点)

(\$ mil)	会社名	(a) 投資額	(b) 時価 (<small>グロス</small>) ^{*2}	(c) = (b) - (a) 損益 (<small>グロス</small>)	(d) = (b) / (a) 倍率 ^{*3}
	Beike	1,350	5,956	+\$4,606	4.4x
	Seer	205	257	+\$52	1.3x
	Qualtrics	24	26	+\$2	1.1x
(A)	上場投資 合計 (グロス) ^{*1}	\$1,579 (0.2兆円)	\$6,239 (0.7兆円)	+\$4,660 (+0.5兆円)	4.0x
(B)	未上場投資 [※]	\$5,141	\$4,992	-\$148	
(A)+(B)	SVF2 合計 (SBG連結目録)	\$6,720	\$11,232	+\$4,512	

1ドル = 110.71円(2021年3月31日TTM)で換算

※1 上場投資 合計 : SVF2からの初期投資以降に上場した銘柄の合計

※2 時価(グロス)=売却前の投資先の公正価値。諸費用等考慮前のリターンを掲載

※3 倍率 : Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。管理報酬、成功報酬、支払利息、その他の費用を控除しない総額ベースにて算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出する必要があるため掲載していない

当社はNVIDIAの主要株主（約6.7-8.1%見込）として長期的な成功に引き続きコミット



※1 Softbank Group Capital Limited (SBGC) およびアーム

※2 SBGCおよびSVF1

※3 SBGC およびSVF 1は、本取引のクロージング時にNVIDIA 普通株式44,366,423 株を受取。株式数は1株当たり484.6007米ドル（20年9月10日に終了した連続した30取引日の同社普通株式終値の平均）に基づき決定

※4 22年3月31日に終了する1年間のアームの売上高およびEBITDA（調整後ベース）がNVIDIAと合意した目標値またはフロア値を達成することを条件とした支払。最大合計50億米ドルの現金またはNVIDIA 普通株式最大10,317,772株を受取

連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債※1

(単位:億円)

	Mar.20	Jun.20	Sep.20	Dec.20	Mar.21
SBG単体	82,813	98,036	93,198	112,189	130,233
うち、SB Northstar	-	-	3,643	15,288	18,665
SVF1およびSVF2	5,815	1,591	1,563	2,603	4,442
ソフトバンク事業	50,811	55,735	57,153	58,045	56,921
その他（アーム等）	3,283	3,329	3,063	3,397	3,884
合計	142,722	158,691	154,978	176,234	195,480

連結手元流動性※2

(単位:億円)

	Mar.20	Jun.20	Sep.20	Dec.20	Mar.21
SBG単体	18,183	41,581	46,016	34,375	35,896
うち、SB NorthStar	-	-	21,750	13,893	9,916
SVF1およびSVF2	1,984	2,576	1,084	469	1,311
ソフトバンク事業	8,211	10,447	13,177	12,954	12,856
その他（アーム等）	4,069	4,582	3,991	4,571	5,248
合計	32,446	59,187	64,268	52,368	55,312

連結純有利子負債※3

(単位:億円)

	Mar.20	Jun.20	Sep.20	Dec.20	Mar.21
SBG単体	64,630	56,455	47,182	77,814	94,337
うち、SB NorthStar	-	-	-18,107	1,395	8,749
SVF1およびSVF2	3,832	-985	480	2,135	3,131
ソフトバンク事業	42,600	45,288	43,977	45,090	44,064
その他（アーム等）	-786	-1,253	-928	-1,173	-1,364
合計	110,276	99,505	90,710	123,866	140,168

※1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。ジャパンネット銀行(現PayPay銀行)の銀行業の預金は含まない

※2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。ジャパンネット銀行(現PayPay銀行)の手元流動性は含まない

※3 ジャパンネット銀行(現PayPay銀行)の【銀行業の預金 - 手元流動性】は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ